

世論調査

環境と暮らし 2025

報告書

一般社団法人 長野県環境保全協会
一般社団法人 長野県世論調査協会

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果 (i) 単純集計	4
	(ii) 概要	8
	(iii) 集計表	35
	(iv) 記述回答	61
III	調査票	71

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ

本調査は、長野県環境保全協会と長野県世論調査協会の共同調査です。
両協会は 2000 年から環境問題をテーマに世論調査を続けています。

I 目的・設計・回答状況

◆ 目 的

地球温暖化や異常気象の変化が一層身近に感じられる現代。私たちは日々の暮らしの中で、持続可能な社会に向けて、どんな心構えで、どのような行動をとっているのか、どんなことができると考えているのか。本調査は、地球環境問題に対する県民意識をさまざまな視点から探り、これからの未来へ向けてどのような施策が求められているのか、考える材料にする狙いです。

◆ 設 計

▽調査期間	2025（令和 7）年 4 月 15 日（調査票発送）～5 月 27 日（回収締め切り）
▽調査対象	長野県内に住む 18 歳以上の男女 1,000 人
▽抽出方法	層化三段無作為抽出法。市町村の選挙人名簿から無作為抽出
▽調査地点	19 市 7 町 7 村の計 33 市町村
▽調査方法	郵送方式。調査票を郵送、回答は郵送、インターネット、ファクスで回収

◆ 回答状況

▽有効回答	5 4 8 人（男性 260 人 女性 272 人 回答しない 16 人）
▽回 答 率	5 4 . 8 %

[回収方法別の内訳]（ ）内は比率

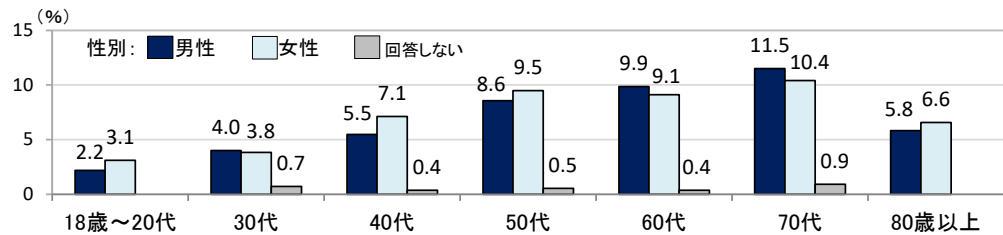
・郵送	417 人（76.1%）
・インターネット	118 人（21.5%）
・ファクス	13 人（2.4%）

【注】・本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

有効回答の内訳

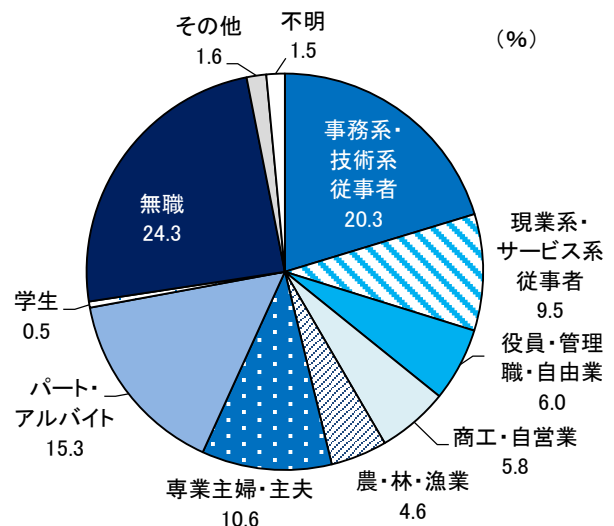
【年代と性別】

		合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
全体	(人)	548	29	47	71	102	106	125	68
	(%)	100.0	5.3	8.6	13.0	18.6	19.3	22.8	12.4
性別	男性	(人)	260	12	22	30	47	54	32
		(%)	47.4	2.2	4.0	5.5	8.6	9.9	5.8
	女性	(人)	272	17	21	39	52	50	36
		(%)	49.6	3.1	3.8	7.1	9.5	9.1	6.6
	回答しない	(人)	16	—	4	2	3	5	—
		(%)	2.9	—	0.7	0.4	0.5	0.9	—



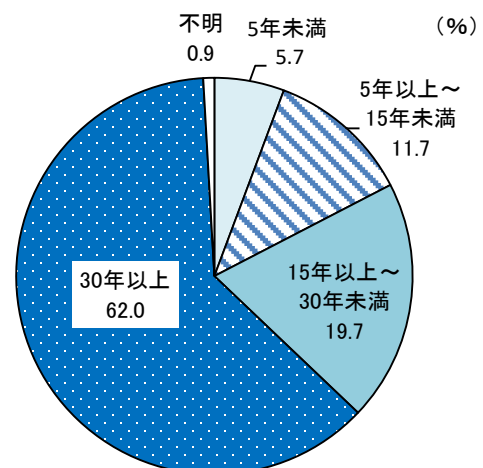
【職業】

	(人)	(%)
事務系・技術系従事者	111	20.3
現業系・サービス系従事者	52	9.5
役員・管理職・自由業	33	6.0
商工・自営業	32	5.8
農・林・漁業	25	4.6
専業主婦・主夫	58	10.6
パート・アルバイト	84	15.3
学生	3	0.5
無職	133	24.3
その他	9	1.6
不明	8	1.5
全体	548	100.0

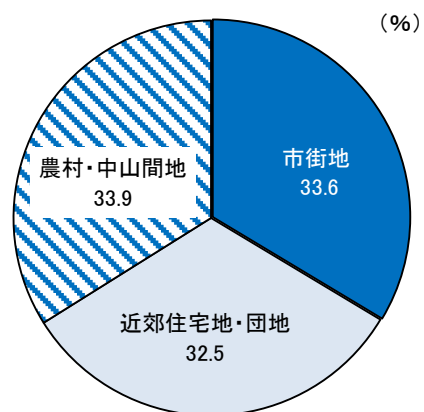


【居住年数】

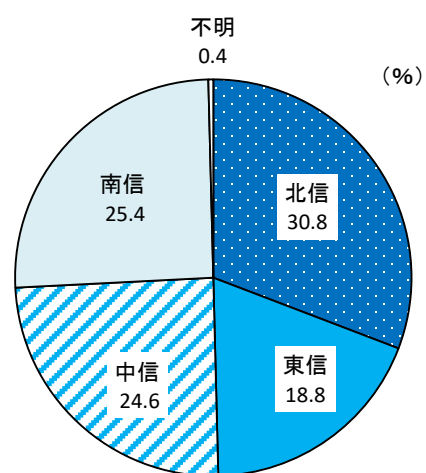
	(人)	(%)
5年未満	31	5.7
5年以上～15年未満	64	11.7
15年以上～30年未満	108	19.7
30年以上	340	62.0
不明	5	0.9
全体	548	100.0



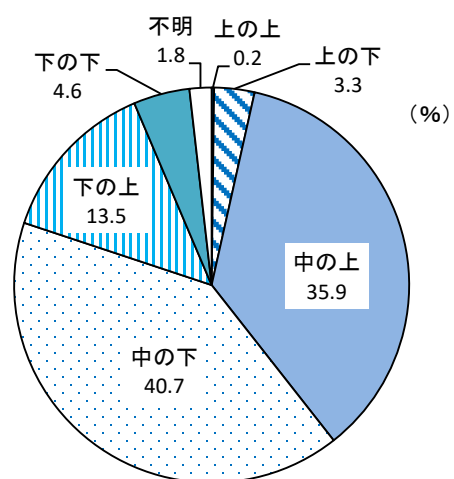
【地域性】	(人)	(%)
市街地	184	33.6
近郊住宅地・団地	178	32.5
農村・中山間地	186	33.9
全体	548	100.0



【地域】	(人)	(%)
北信	169	30.8
東信	103	18.8
中信	135	24.6
南信	139	25.4
不明	2	0.4
全体	548	100.0



【暮らし向き】	(人)	(%)
上の上	1	0.2
上の下	18	3.3
中の上	197	35.9
中の下	223	40.7
下の上	74	13.5
下の下	25	4.6
不明	10	1.8
全体	548	100.0



Ⅱ 調査結果

(i) 単純集計

問1 あなたが、地球環境問題を考えるときに、特に心配なことは何ですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・地球温暖化・異常気象・気候変動	459	83.8
・自然災害の増加	321	58.6
・国際間の紛争(戦争)	184	33.6
・農作物への影響	128	23.4
・ごみ問題	93	17.0
・海洋汚染 (マイクロプラスチックなど)	89	16.2
・石炭火力発電や原子力発電などのエネルギー問題	79	14.4
・水資源の枯渇	55	10.0
・熱帯林・森林の減少	48	8.8
・オゾン層の破壊	46	8.4
・メガソーラーなどの開発による自然破壊	44	8.0
・生物多様性の減少 (野生生物種の減少)	29	5.3
・土壌汚染	16	2.9
・その他	2	0.4
・特にない	4	0.7
・不明	1	0.2

問2 あなたは現在、地球温暖化に関心がありますか。

	(人)	(%)
・関心がある	213	38.9
・ある程度関心がある	278	50.7
・あまり関心はない	24	4.4
・関心はない	11	2.0
・何とも言えない・わからない	21	3.8
・不明	1	0.2

問3 地球温暖化防止のためのパリ協定を実現するには、今世紀半ばに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

A あなたは、主要な温室効果ガスである二酸化炭素(CO₂)排出量が実質ゼロ(ゼロカーボン)の社会は、どのような社会だと思いますか。

	(人)	(%)
・再生可能エネルギーの普及や省エネ技術の発展等により、 今と同じくらい便利な社会	275	50.2
・エネルギーを極力使わないよう我慢を強いられる不便な社会	70	12.8
・高性能な住まいの普及やスマートシティーの形成等により、 今より快適で便利な社会	48	8.8
・その他	14	2.6
・何とも言えない・わからない	134	24.5
・不明	7	1.3

B 地球温暖化対策は、あなたご自身の生活の質を高めると思えますか。生活の質を下げると思えますか。イメージに近い方を選んでください。

	(人)	(%)
・多くの場合、生活の質を高める	137	25.0
・多くの場合、生活の質を下げる	163	29.7
・何とも言えない・わからない	241	44.0
・不明	7	1.3

問4 長野県の気候非常事態宣言では、「県民一丸となった徹底的な省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大」を推進するとしています。あなたご自身が協力できると思うことを、次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・ごみ削減や分別、リサイクルへの協力	388	70.8
・省エネ家電への買い替え	170	31.0
・太陽光発電による自家発電	104	19.0
・住宅の断熱性能の向上	93	17.0
・自転車・徒歩による移動	85	15.5
・公共交通機関の利用	76	13.9
・太陽光以外の再生可能エネルギー利用(小水力・地熱・バイオマス等)	53	9.7
・電気自動車への買い替え	27	4.9
・その他	5	0.9
・特にない	14	2.6
・不明	4	0.7

問5 あなたは日ごろ、省エネ・節電を実行していますか。

	(人)	(%)
・かなり実行している	38	6.9
・ある程度は実行している	376	68.6
・あまり実行していない	99	18.1
・全く実行していない	8	1.5
・何とも言えない・わからない	18	3.3
・不明	9	1.6

問6 (問5で「あまり実行していない」「全く実行していない」とお答えの方にお尋ねします)その主な理由は何ですか。

	(人)	(%)
・省エネ・節電は設備などに費用がかかる	50	46.7
・省エネ・節電への取り組み方がわからない	28	26.2
・省エネ・節電の取り組みは面倒臭い	24	22.4
・その他	4	3.7
・不明	1	0.9

問7 現在は利用する電力会社を選べますが、発電方式で選択するとしたら、どの発電を行う会社から電力を購入したいと思えますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

	(人)	(%)
・再生可能(自然)エネルギー (太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど)	395	72.1
・原子力	75	13.7
・購入せず自家発電で自給自足する (太陽光、エネファーム=ガスなどによる発電)	72	13.1
・石炭・天然ガスなどの火力	52	9.5
・その他	14	2.6
・特に気にしていない・わからない	83	15.1
・不明	12	2.2

問8 太陽光発電は、発電時に温室効果ガスを排出しないことから、環境への負荷が小さく、発電した電気を自宅で使うことで電気代の削減や停電時の備えにも役立てることができます。あなたのお宅では、太陽光発電を導入していますか。

	(人)	(%)
・太陽光発電を導入している	88	16.1
・今はしていないが、今後導入したい	69	12.6
・(持ち家に居住しているが)導入する予定はない	316	57.7
・(マンション・賃貸などで)導入できない	68	12.4
・不明	7	1.3

問9 (問8で「太陽光発電を導入している」とお答えの方にお尋ねします)太陽光発電を導入して、最も良かったことを選択してください。

	(人)	(%)
・経済的メリット(電気代の節約、売電収入)	55	62.5
・災害・停電へ備えることができること	13	14.8
・環境への負荷を減らせること	13	14.8
・その他	2	2.3
・特にない	5	5.7

問10 (問8で「導入する予定はない」とお答えの方にお尋ねします)あなたが太陽光発電を導入しない理由として最も大きなものを選択してください。

	(人)	(%)
・設置費用が高く、メリットがあると138	138	43.7
わかっていても導入できない		
・自宅が太陽光発電に適していないから(例:日当たりが悪い、積雪が多い、築年数等により設置が困難など)	67	21.2
・設備の処分廃棄方法に不安があるから	36	11.4
・導入してもメリットがない(少ない)から	29	9.2
・太陽光発電に興味がないから	14	4.4
・導入を検討する時間的余裕がないから	6	1.9
・販売店や自宅に合った製品の選び方など設置の方法等がわからないから	4	1.3
・その他	16	5.1
・不明	6	1.9

問11 あなたは、現在お住まいの住宅の断熱性能を高いと感じていますか。

	(人)	(%)
・高いと感じている	88	16.1
・やや高いと感じている	159	29.0
・やや低いと感じている	95	17.3
・低いと感じている	134	24.5
・何とも言えない・わからない	66	12.0
・不明	6	1.1

問12 住宅の断熱性能を向上させるには、窓や壁、屋根、床などの断熱改修(省エネリフォーム)が効果的です。あなたは、住宅の断熱改修に関心がありますか。次の中から、あてはまる項目を選んでください。

	(人)	(%)
・リフォームを考えており、断熱改修に関心がある	26	4.7
・リフォームの予定はないが、断熱改修には関心がある	219	40.0
・リフォームを考えているが、断熱改修には関心がない	4	0.7
・リフォームの予定はなく、断熱改修にも関心がない	64	11.7
・新築(入居)時から断熱性能の高い家に住んでいる	104	19.0
・既に断熱改修をした	47	8.6
・賃貸のため、リフォームはできない	59	10.8
・その他	19	3.5
・不明	6	1.1

問13 あなたは、車の運転の際、エコドライブで気を付けていることがありますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

	(人)	(%)
・発進時にふんわりアクセルを心がけている	309	56.4
・加減速の少ない運転をするよう心がけている	303	55.3
・減速時は早めのアクセルオフするようにしている	241	44.0
・アイドリングはできる限りしないようにしている	236	43.1
・自分の車の燃費を把握することを習慣にしている	206	37.6
・タイヤの空気圧チェックを習慣にしている	98	17.9
・その他	7	1.3
・運転はしない	50	9.1
・不明	7	1.3

問14 あなたは、通勤の際、主に何を利用していますか。

	(人)	(%)
・マイカー・社用車(毎日)	194	56.4
・マイカー・社用車(週に3日以上)	52	15.1
・マイカー・社用車(週に1~2日)	6	1.7
・徒歩	28	8.1
・公共交通機関	17	4.9
・自転車、バイク	5	1.5
・その他	9	2.6
・不明	33	9.6

問15 あなたは、「信州スマートムーブ通勤ウィーク」を知っていますか。

	(人)	(%)
・知っており実践している	7	2.0
・知っているが実践していない	28	8.1
・知らない	280	81.4
・不明	29	8.4

問16 長野県民 1 人当たりの 1 日のごみ(一般廃棄物)排出量は、2021 年度に、800g の目標が達成され、県は 2025 年度には 790g にする目標を掲げています。あなた自身の生活の中から出るごみの量についてはどう思いますか。

	(人)	(%)
・もっと減らす余地がある	213	38.9
・現在の量を維持したい	233	42.5
・もっと多く出そうだ	18	3.3
・その他	9	1.6
・何とも言えない・わからない	66	12.0
・不明	9	1.6

問17 容器、袋など、プラスチックごみによる、海洋汚染などが問題化しています。プラスチックごみを減らすために、あなたが日ごろ、心掛けていることはありますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

	(人)	(%)
・分別・リサイクルをする	426	77.7
・マイバッグやマイボトルを使用する	420	76.6
・レジ袋は買わない、または受け取らない	346	63.1
・詰め替え製品を利用する	323	58.9
・河川一斉清掃等のボランティア活動に参加する	68	12.4
・その他	5	0.9
・特にない	16	2.9
・不明	4	0.7

問18 あなたは、次に挙げるエシカル消費につながる行動について、実践しているものはありますか。あてはまるものを全て挙げてください。

	(人)	(%)
・マイバッグ・マイ箸・マイカップ等の利用	409	74.6
・電気をこまめに消す等の省エネ	388	70.8
・食品ロス削減	301	54.9
・地産地消(地場産食材の購入)	260	47.4
・国産品の購入	248	45.3
・リサイクル活動・リサイクル品の購入	164	29.9
・被災地へお金の寄付や物資提供	96	17.5
・太陽光・風力発電など再生可能エネルギーの利用・購入	76	13.9
・環境に配慮した商品(エコカー、エコラベル商品、持続可能な林産物海産物等を含む)の購入	74	13.5
・地域コミュニティ活動への参加	64	11.7
・有機食品・製品の購入	61	11.1
・フェアトレード(Fair Trade:公平公正な貿易)商品の購入	31	5.7
・寄付型商品の購入	25	4.6
・被災地以外の国内外へお金の寄付や物資提供	24	4.4
・アニマルウェルフェア(動物福祉)に配慮した商品の購入	12	2.2
・その他	2	0.4
・不明	10	1.8

問19 あなたは日ごろ、次に挙げる環境のためになること(環境に配慮した暮らし)の行動例のうち、実行していることはありますか。あてはまるものを全て挙げてください。

	(人)	(%)
・省エネ、節電を実施している	366	66.8
・省エネ性能を意識して家電を買い替えている	127	23.2
・EV やハイブリッド自動車などエネルギー効率のいい車に乗っている	113	20.6
・エコドライブ(アイドリングストップや急発進・急加速をしない等)を心がけている	318	58.0
・宅配便の1回での受け取り(日時指定や置き配などにより再配達を削減)を心がけている	258	47.1
・太陽光パネルを設置している	84	15.3
・地場産食材の購入を心がけている	234	42.7
・野生生物保護、自然再生、外来動植物駆除(アレチウリ駆除等)の活動に参加したことがある	34	6.2
・自然観察会に参加したことがある	23	4.2
・節水を実施している	290	52.9
・洗濯や食器洗いの洗剤の量を控えめにしている	227	41.4
・公共交通機関や自転車を積極的に利用している	60	10.9
・ごみの排出削減(食べ残し削減、家庭の食品ロス削減など)を心がけている	322	58.8
・ごみの分別やリサイクルを心がけている	441	80.5
・マイバッグやマイボトルを使用している	420	76.6
・詰め替え製品(洗剤など)の購入を心がけている	366	66.8
・エコラベル(エコマークなど)掲載商品の購入を心がけている	72	13.1
・環境に関する講習会や勉強会に参加したことがある	36	6.6
・不明	8	1.5

問20 あなたが、環境をより良くするために参加している活動、または参加したいと思う活動はどれですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・食品ロス・食べ残し削減のための活動	194	35.4
・地域の美化・緑化活動	158	28.8
・ごみの削減に関する活動	141	25.7
・子どもたちの環境教育	107	19.5
・里山など身近な自然の保全	107	19.5
・省エネルギー・再生可能エネルギーの普及	87	15.9
・環境・省エネなどについての講習会や勉強会	75	13.7
・街並みや史跡を守る運動	69	12.6
・公共交通機関の利用促進	64	11.7
・生物多様性の保全(野生生物の保護や自然の再生など)	36	6.6
・温暖化防止のための運動や街頭活動(例えば気候マーチなど)	12	2.2
・その他	5	0.9
・特にない・わからない	108	19.7
・不明	16	2.9

問21 あなたは、環境問題に関する次のことば(用語、キーワード)を知っていますか。知っているものを全て挙げてください

	(人)	(%)
・カーボンニュートラル (ゼロカーボン)	351	64.1
・バイオマス	336	61.3
・SDGs(持続可能な開発目標)	313	57.1
・マイクロプラスチック	297	54.2
・サステナブル	263	48.0
・森林環境税	235	42.9
・ダイバーシティ(多様性)	219	40.0
・COP(締約国会議)	155	28.3
・30・10 運動	128	23.4
・エシカル消費	74	13.5
・長野県ゼロカーボン戦略 (ロードマップ)	50	9.1
・GX(グリーントランスフォーメーション)	42	7.7
・IPCC(気候変動に関する政府間パネル)	37	6.8
・ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)・ ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)	37	6.8
・ESD(持続可能な開発のための教育)	35	6.4
・ESG(環境・社会・企業統治) 投資	32	5.8
・サーキュラーエコノミー	29	5.3
・ネイチャーポジティブ	18	3.3
・デコ活(脱炭素につながる 新しい豊かな暮らしを創る国民運動)	17	3.1
・信州屋根ソーラーポテンシャル マップ	10	1.8
・地域循環共生圏	10	1.8
・くらしふと信州 (ゼロカーボン社会共創プラットフォーム)	9	1.6
・不明	46	8.4

(ii) 概要

有効回答 548 人

地球環境 特に心配なことは

問1 あなたが、地球環境問題を考えるときに、特に心配なことは何ですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

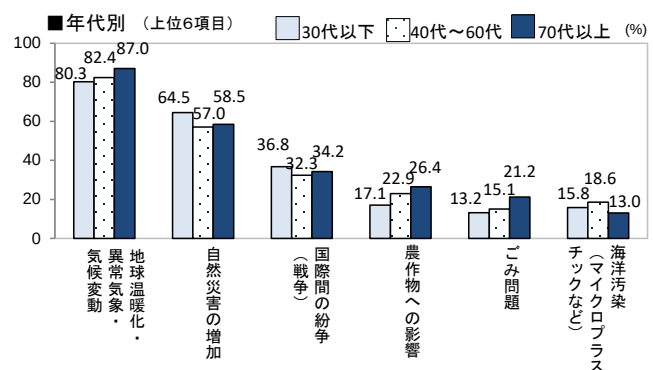
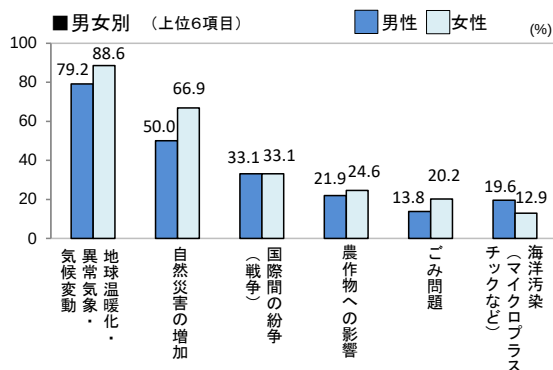
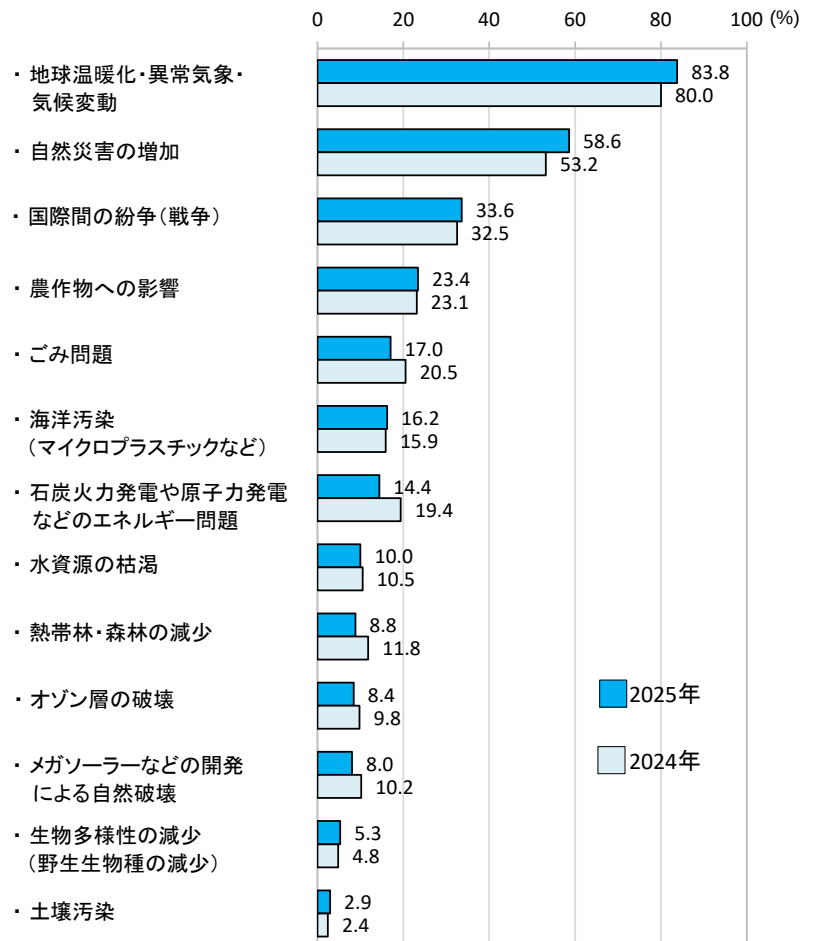
◆「地球温暖化・異常気象・気候変動」83.8%

集計表35ページ

地球温暖化を考える上で特に心配なことを3つ以内で挙げてもらった。最も多かったのは「地球温暖化・異常気象・気候変動」の83.8%で、2番目は「自然災害の増加」の58.6%。以下「国際間の紛争（戦争）」が33.6%、「農作物への影響」が23.4%、「ごみ問題」が17.0%と続く。2024年の前回調査と比べて「地球温暖化・異常気象・気候変動」が3.8ポイント、「自然災害の増加」が5.4ポイント増加した。

男女別では、女性は「自然災害の増加」が66.9%で、男性より16.9ポイント高い。

年代別にみると、「自然災害の増加」は30代以下が64.5%と高く、「ごみ問題」は70代以上が21.2%と高い。

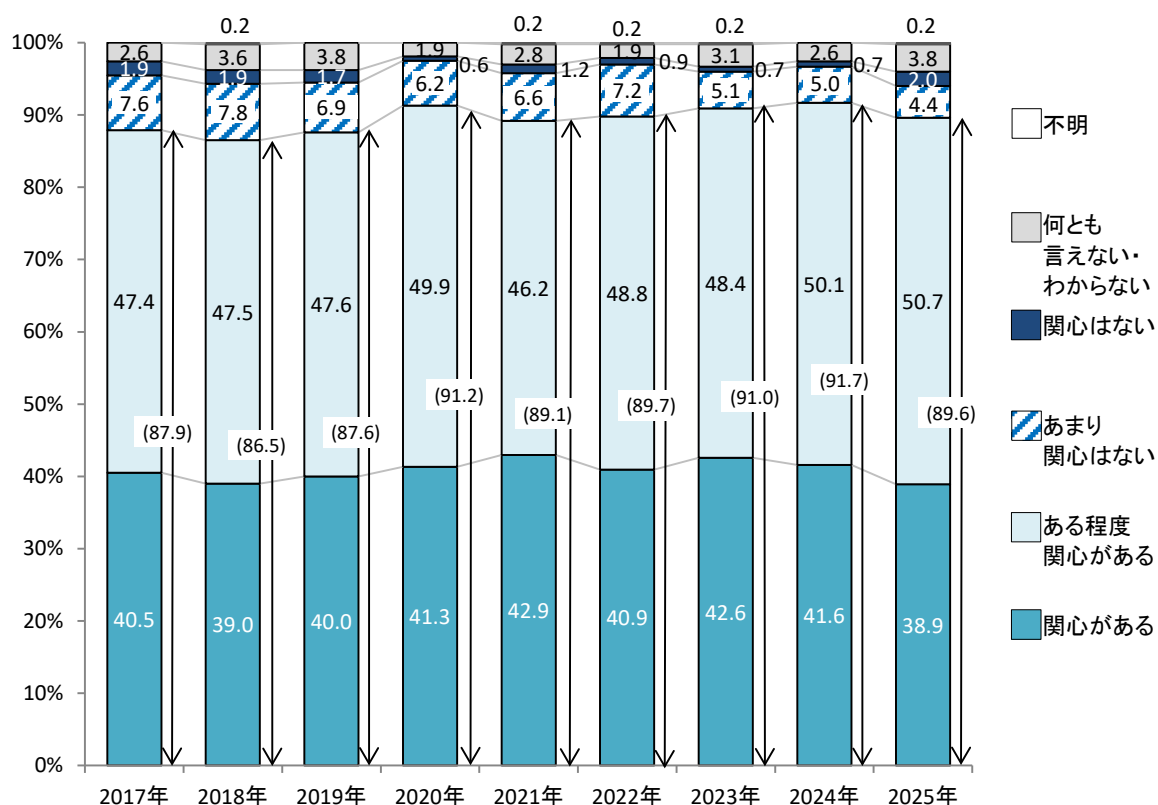


温暖化

問2 あなたは現在、地球温暖化に関心がありますか。

◆関心が「ある」「ある程度ある」合計 89.6%

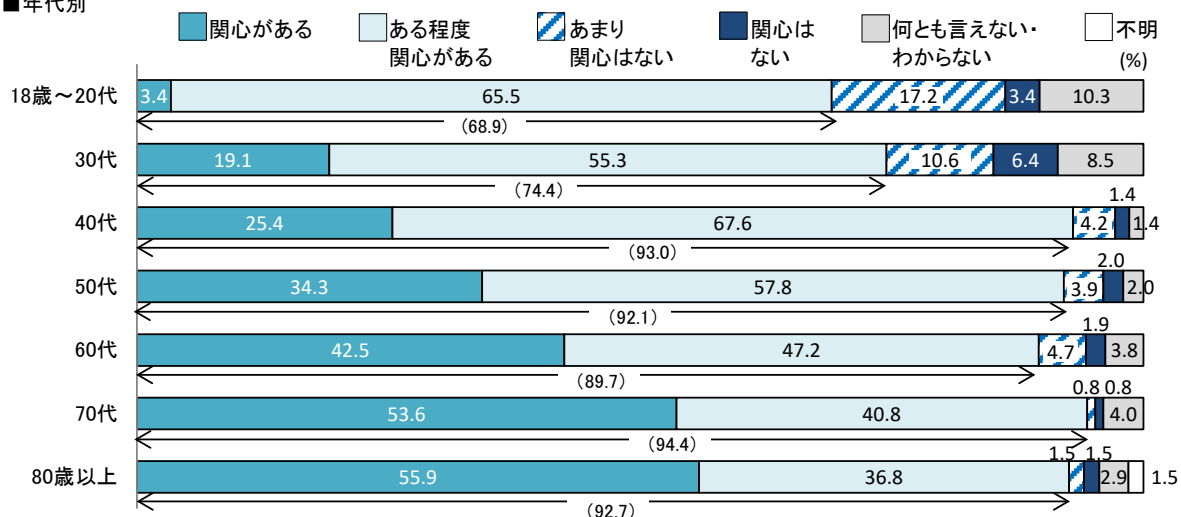
集計表36ページ



「関心がある」は 38.9%、「ある程度関心がある」が 50.7%で合計 89.6%。過去 8 回の調査と比べて大きな変動はない。

年代が上がるほど「関心がある」が高く、80 歳以上は 55.9%。18 歳～20 代と 30 代は「関心はない」と「あまり関心はない」の合計が 20.6%、17.0%と高く、若年層で関心度が低い。

■年代別



ゼロカーボン社会

問3 地球温暖化防止のためのパリ協定(※)を実現するには、今世紀半ばに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

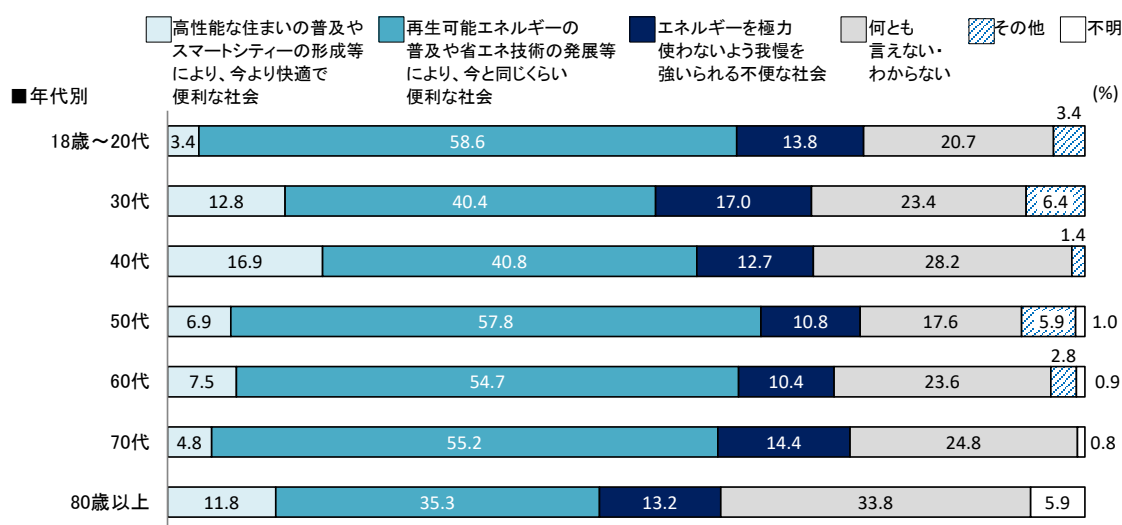
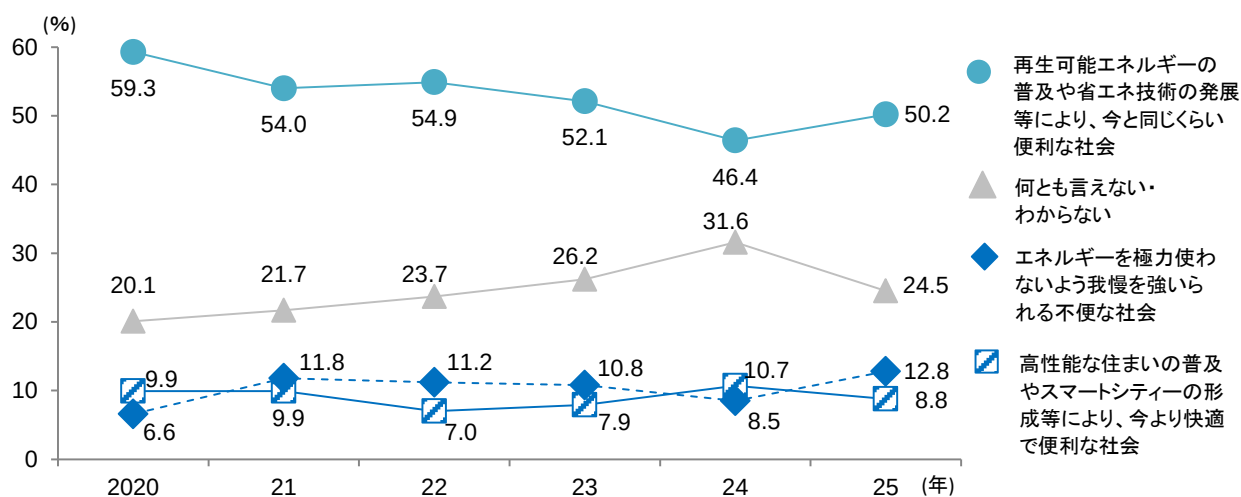
A あなたは、主要な温室効果ガスである二酸化炭素(CO₂)排出量を実質ゼロ(ゼロカーボン)の社会は、どのような社会だと思いますか。

◆「今と同じくらい便利な社会」5割

集計表37ページ

「再生可能エネルギーの普及や省エネ技術の発展等により、今と同じくらい便利な社会」が50.2%で半数を占め、「エネルギーを極力使わないよう我慢を強いられる不便な社会」が12.8%、「高性能な住まいの普及やスマートシティの形成等により、今より快適で便利な社会」が8.8%と続く。「何とも言えない・わからない」は24.5%。前回調査から「今と同じくらい便利な社会」と「我慢を強いられる不便な社会」がわずかに増加した。

年代別では、40代は「今より快適で便利な社会」が16.9%と高め。80歳以上は「何とも言えない・わからない」と答えた人が33.8%。



※パリ協定 京都議定書に代わる地球温暖化対策の国際協定。産業革命以前からの気温上昇を2℃未満、できれば1.5℃に抑えることを目指す。

温暖化対策

問3 B 地球温暖化対策は、あなたご自身の生活の質を高めると思えますか。生活の質を下げると思えますか。イメージに近い方を選んでください。

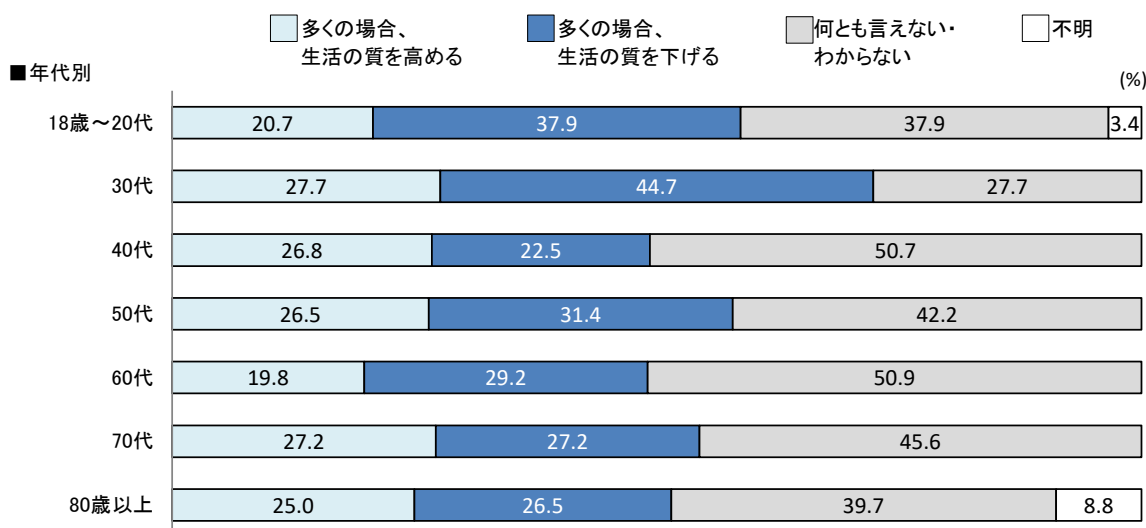
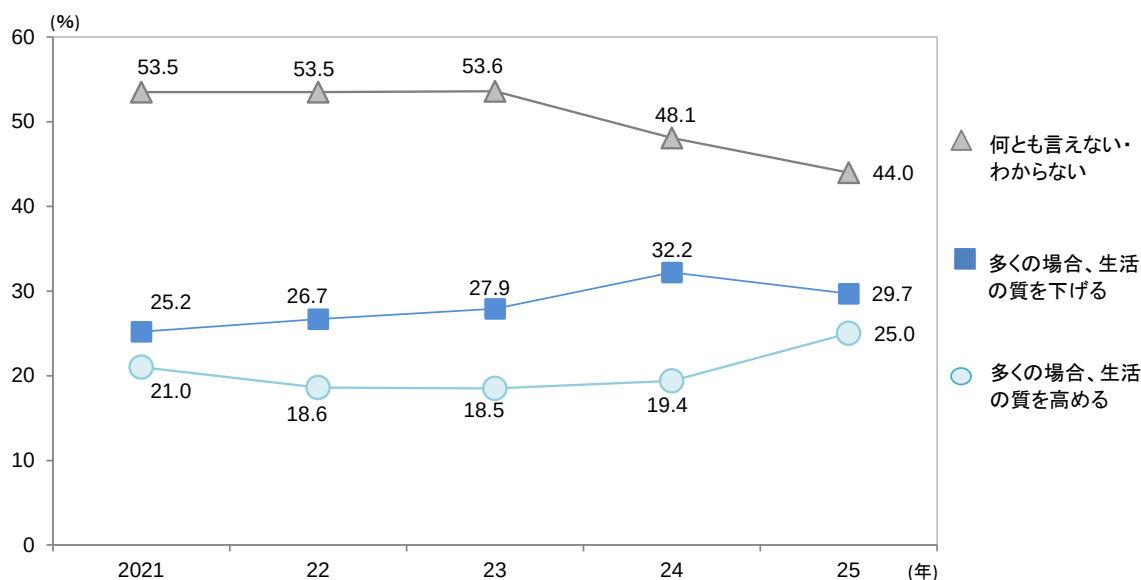
◆「生活の質を下げる」29.7%

集計表37ページ

「多くの場合、生活の質を下げる」が29.7%、「多くの場合、生活の質を高める」は25.0%。「何とも言えない・わからない」が44.0%で最も多かった。前回調査と比べ「生活の質を高める」が5.6ポイント上昇した。

年代別にみると、30代は「生活の質を下げる」と考える割合が44.7%と他の年代より目立って高い。続いて18歳～20代の37.9%、50代の31.4%と続く。

男女別では、男性は「生活の質を下げる」が36.2%で、女性より12.7ポイント高い。職業別では、農・林・漁業に従事する人は「生活の質を下げる」が48.0%と、他の職種に比べて高い傾向がみられる。



協力できること

問4 長野県の気候非常事態宣言では、「県民一丸となった徹底的な省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大」を推進するとしています。あなたご自身が協力できると思うことを、次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

◆「ごみ削減や分別、リサイクルへの協力」7割

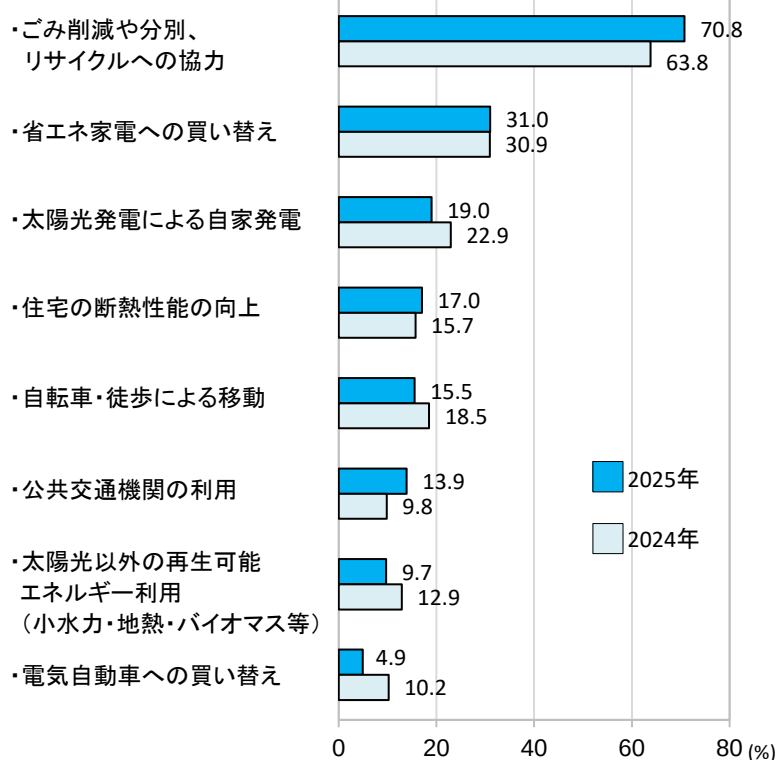
集計表38ページ

2つ以内の複数回答で聞いたところ、「ごみ削減や分別、リサイクルへの協力」が70.8%と断トツ。「省エネ家電への買い替え」が31.0%、「太陽光発電による自家発電」が19.0%、「住宅の断熱性能の向上」が17.0%、「自転車・徒歩による移動」が15.5%と続く。前回調査から「ごみ削減や分別、リサイクルへの協力」と「公共交通機関の利用」が増加した。

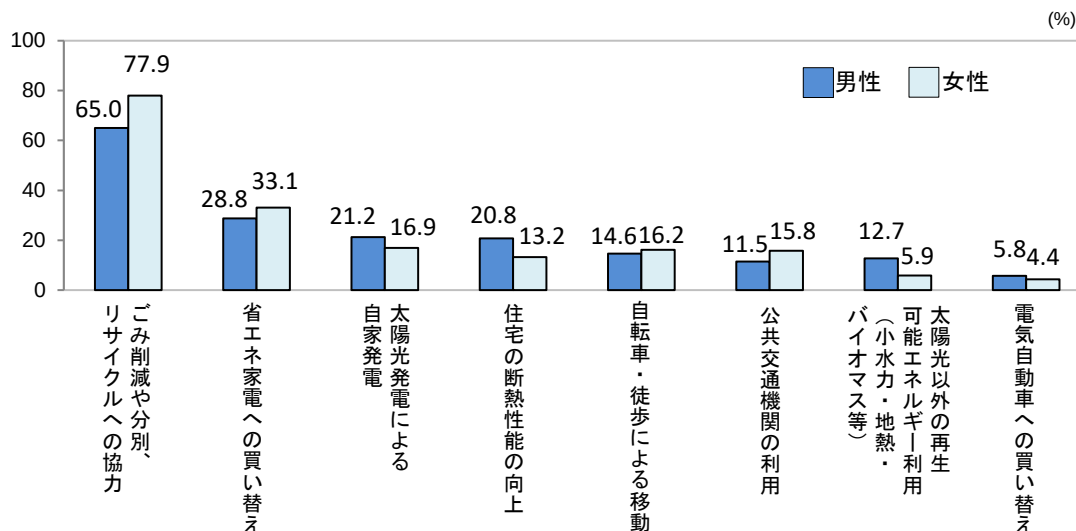
男女別では、女性の「ごみ削減や分別、リサイクルへの協力」が77.9%と、男性(65.0%)より12.9ポイント高い。

年代別にみると、18歳～20代では「公共交通機関の利用」が31.0%と他の年代に比べて高い。

職業別では、農・林・漁業は「太陽光以外の再生可能エネルギー利用」を挙げた割合が24.0%と高い。



■男女別



省エネ・節電

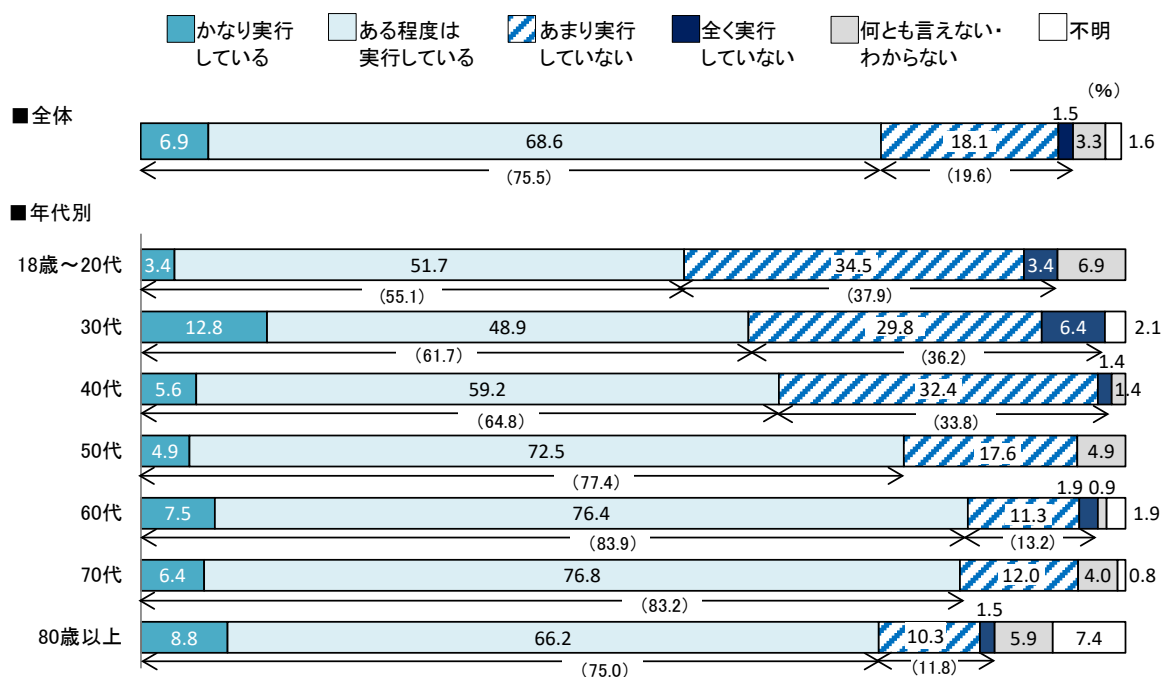
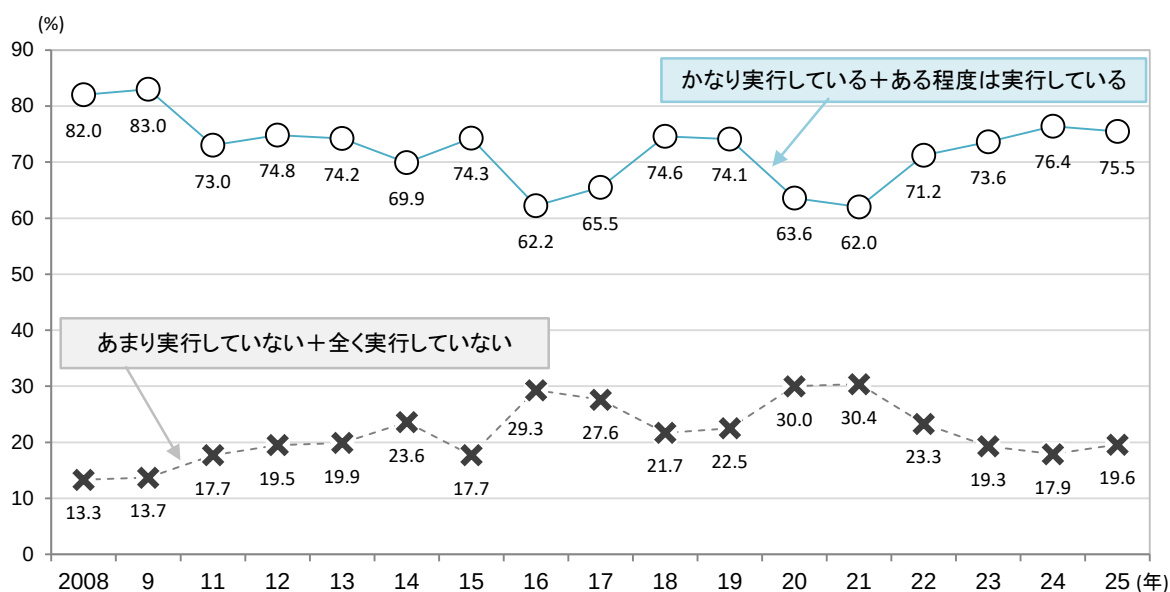
問5 あなたは日ごろ、省エネ・節電を実行していますか。

集計表39ページ

◆「かなり」「ある程度」実行している計 75.5%

省エネ・節電を「かなり実行している」と回答したのは6.9%で、「ある程度実行している」の68.6%と合わせて75.5%。「全く実行していない」は1.5%で、「あまり実行していない」は18.1%。前回調査と比べて大きな変動はない。

年代別では、60代と70代は「実行している」の合計がそれぞれ83.9%、83.2%と高い。



実行していない理由

問6 (問5で「あまり実行していない」「全く実行していない」とお答えの方にお尋ねします)
その主な理由は何ですか。

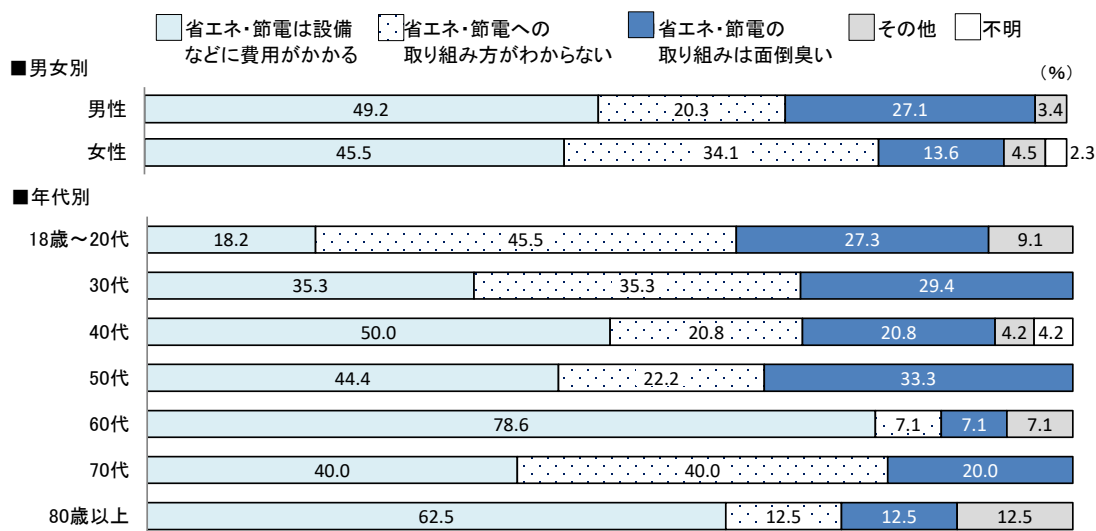
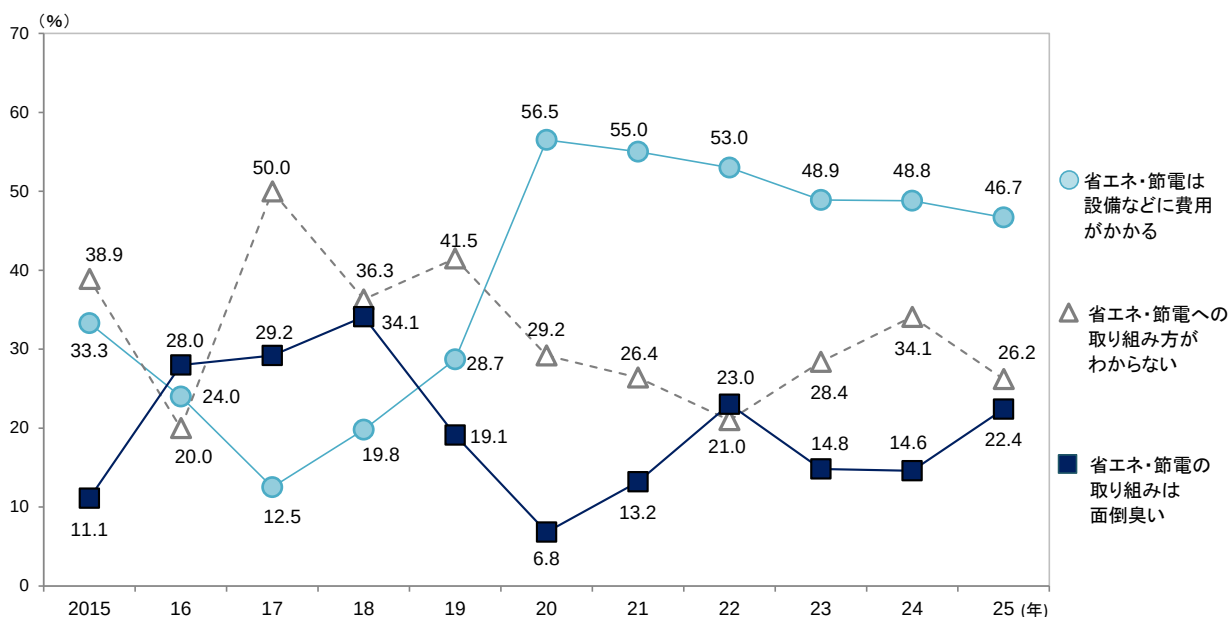
◆「省エネ・節電は設備などに費用がかかる」46.7%

集計表40ページ

実行していない理由でもっとも多く挙げられたのは「省エネ・節電は設備などに費用がかかる」で46.7%。「取り組み方がわからない」の26.2%、「面倒臭い」の22.4%が続く。前回調査から「費用がかかる」は2.1ポイント下降し、「面倒臭い」は7.8ポイント上昇した。

男女別では、男性は「面倒臭い」が27.1%で、女性(13.6%)より13.5ポイント高く、省エネ・節電に対する心理的なハードルがやや大きい。一方、女性では「取り組み方がわからない」が34.1%と、男性(20.3%)より13.8ポイントも高く、情報や知識面での支援が求められる傾向にある。

年代別に見ると、60代では「費用がかかる」が78.6%と高い。一方、18歳～20代では「取り組み方がわからない」が45.5%に上る。



どの発電方式を選ぶ？

問7 現在は利用する電力会社を選べますが、発電方式で選択するとしたら、どの発電を行う会社から電力を購入したいと思いますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

◆「再生可能エネルギー」72.1%

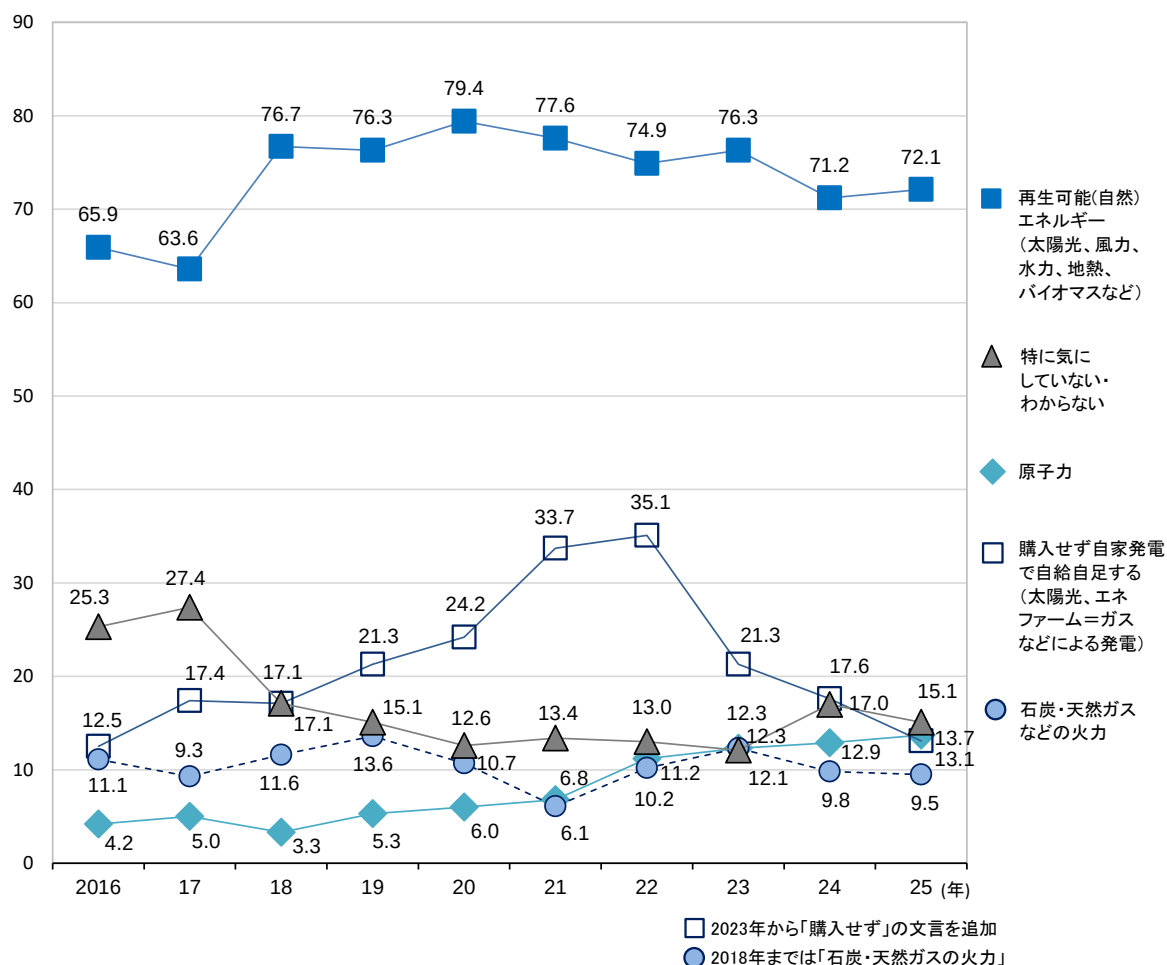
集計表41ページ

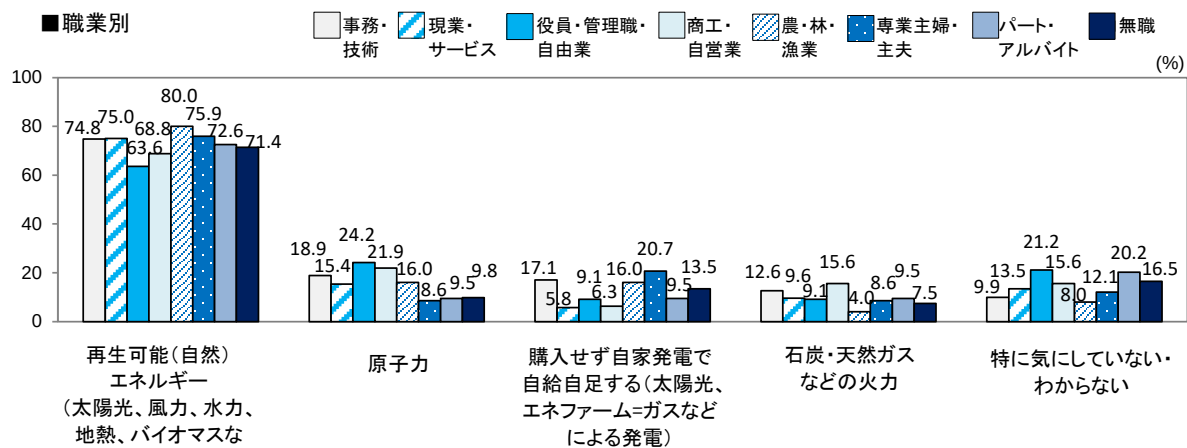
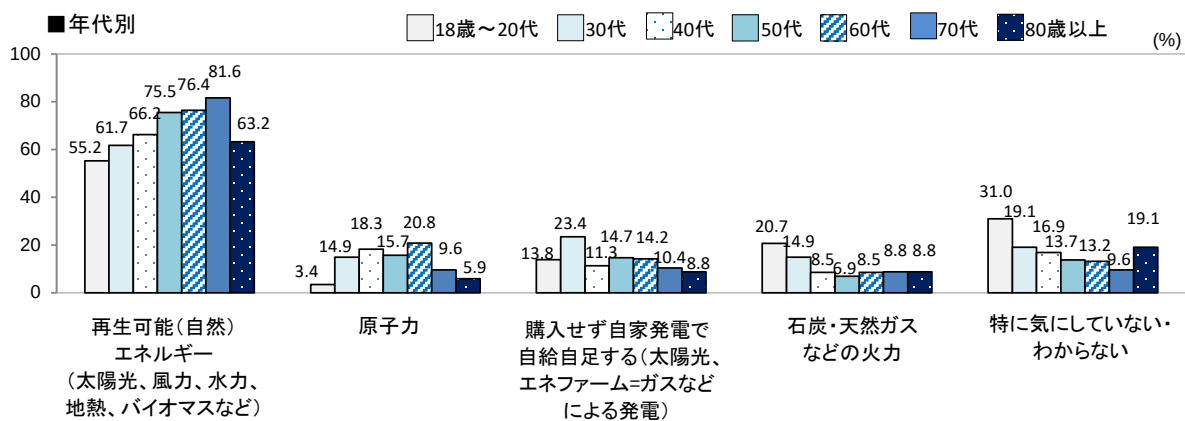
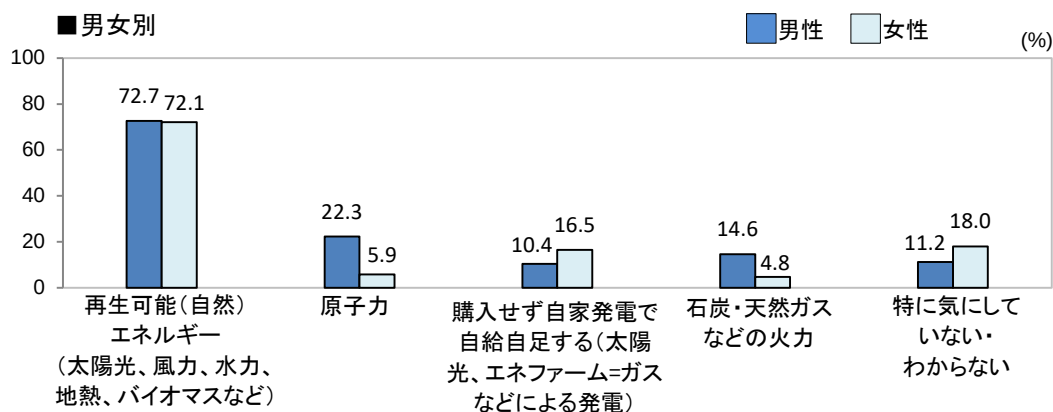
最多は「再生可能（自然）エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど）」で72.1%に上る。大差で続いたのは「原子力」の13.7%、「購入せず自家発電で自給自足する（太陽光やエネファームなど）」の13.1%で、「石炭・天然ガスなどの火力」は9.5%。「特に気にしていない・わからない」とした回答は15.1%だった。「購入せず自家発電」は3回連続で減少した。

性別でみると、男性は「原子力」が22.3%と女性（5.9%）に比べて高く、女性では「購入せず自家発電」が16.5%と男性（10.4%）より高い傾向。

年代別にみると、70代は「再生可能エネルギー」が81.6%ともっとも高い。対して18歳～20代は「再生可能エネルギー」が55.2%と他年代よりやや低く、「わからない」が31.0%と最多。

職業別では、役員・管理職・自由業では「原子力」が24.2%と他の職業層より高い。専業主婦・主夫では「購入せず自家発電」が20.7%と高め。





太陽光発電

問8 太陽光発電は、発電時に温室効果ガスを排出しないことから、環境への負荷が小さく、発電した電気を自宅で使うことで電気代の削減や停電時の備えにも役立てることができます。あなたのお宅では、太陽光発電を導入していますか。

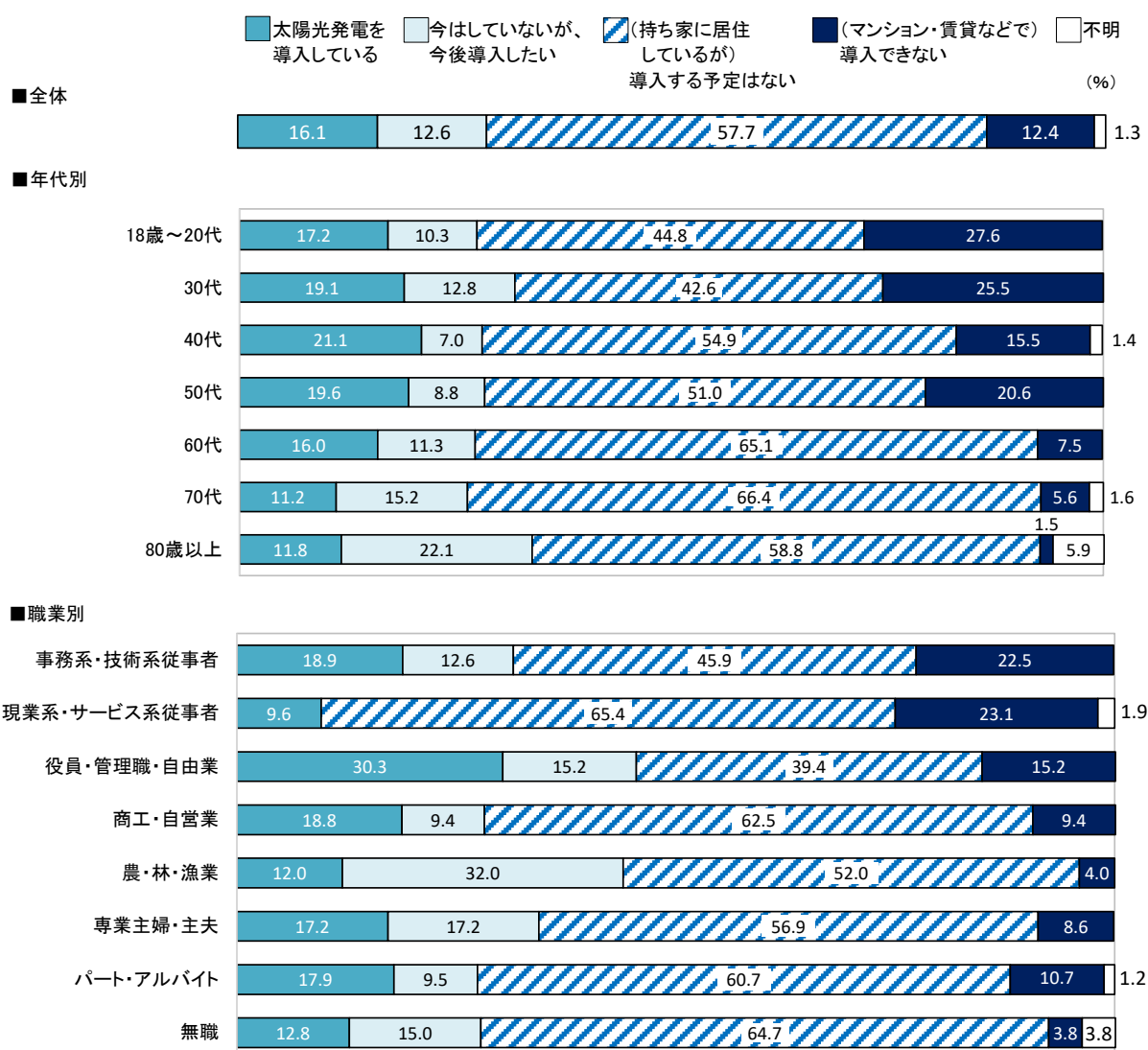
◆「導入する予定はない」57.7%

集計表42ページ

最も多かったのは「(持ち家に居住しているが) 導入する予定はない」で57.7%を占めた。次いで「太陽光発電を導入している」が16.1%、「今はしていないが、今後導入したい」が12.6%、「(マンション・賃貸などで) 導入できない」が12.4%と続く。「導入する予定はない」は前回調査(51.9%)から5.8ポイント増。

年代別では、40代と50代の導入率が比較的高い。若年層(18歳～20代と30代)では「導入できない」とする回答が高く、賃貸・集合住宅居住の影響がみて取れる。

職業別では、役員・管理職・自由業の導入率が30.3%、農・林・漁業は「今後導入したい」が32.0%と高い。



太陽光発電 良かったこと

問9 (問8で「太陽光発電を導入している」とお答えの方にお尋ねします)
太陽光発電を導入して、最も良かったことを選択してください。

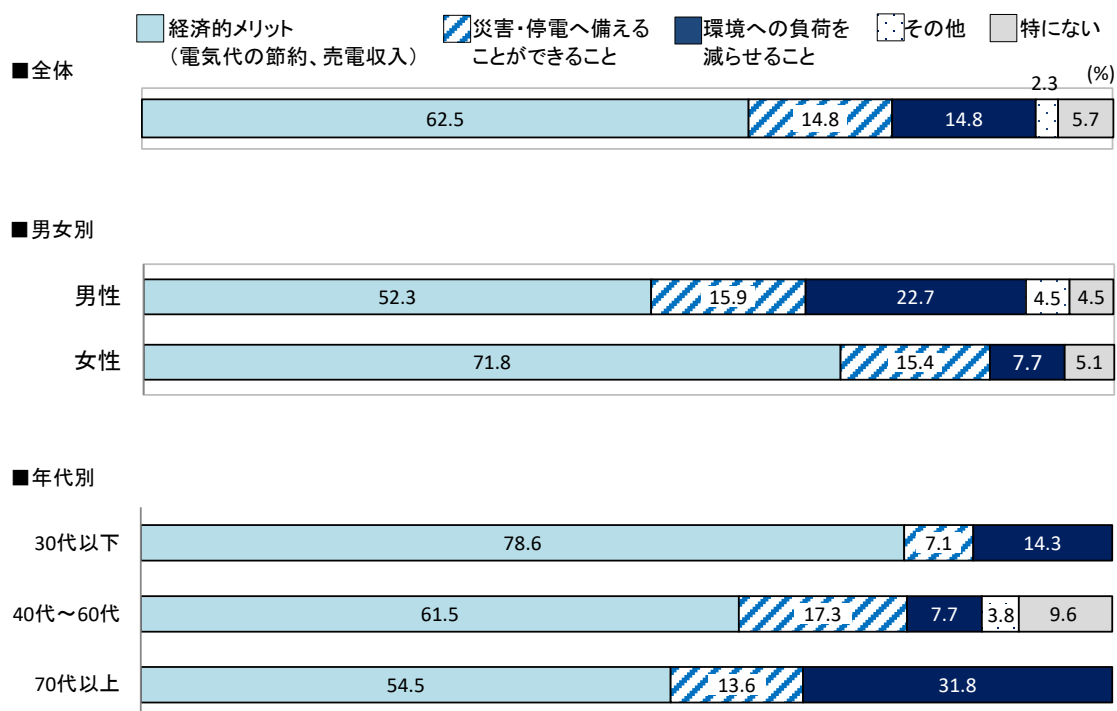
◆「経済的メリット」62.5%

集計表42ページ

問8で「太陽光発電を導入している」と回答した88人に聞いた。最も多かったのは「経済的メリット（電気代の節約、売電収入）」で62.5%に上る。「災害・停電へ備えることができること」と「環境への負荷を減らせること」がそれぞれ14.8%で並ぶ。前回調査では選択肢が異なっているため比較できない（※）。

性別でみると、女性は71.8%が「経済的メリット」と回答しており、男性（52.3%）より19.5ポイント高い。一方、男性は「環境への負荷を減らせること」が22.7%と、女性（7.7%）より15ポイント高い。

※参考：前回調査の選択肢は、「電気代を節約できること」43.2%、「売電収入が得られること」37.5%、「災害・停電へ備えることができること」12.5%、「ゼロカーボンに貢献できること」2.3%、「特にない」4.5%。



太陽光発電 導入しない理由

問 10 (問8で「導入する予定はない」とお答えの方にお尋ねします)
あなたが太陽光発電を導入しない理由として最も大きなものを選択してください。

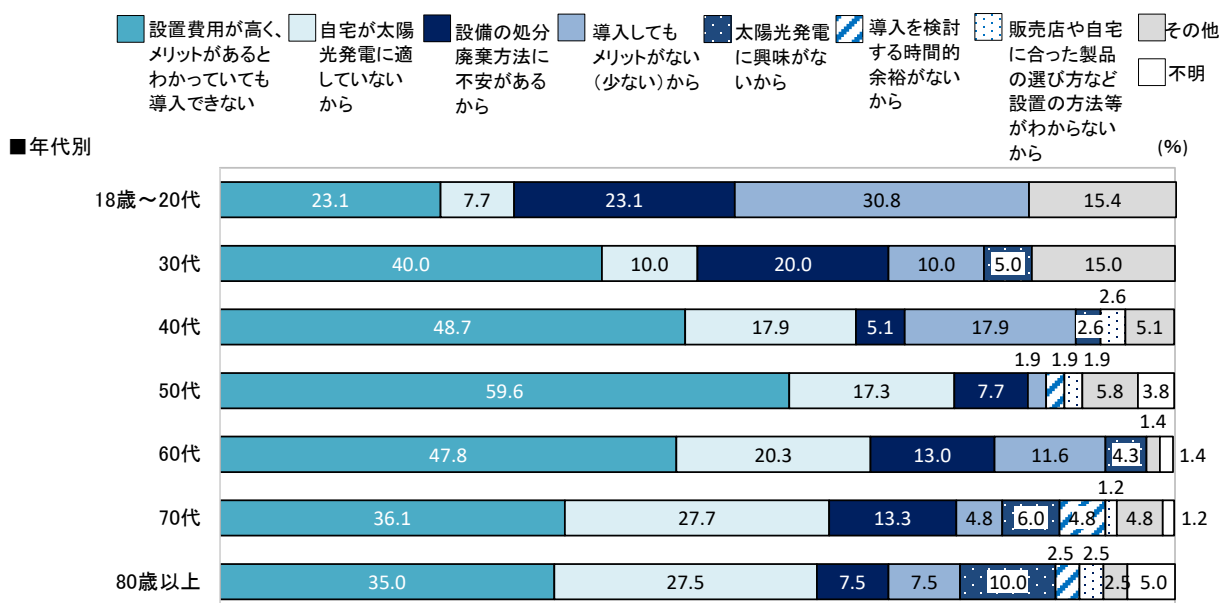
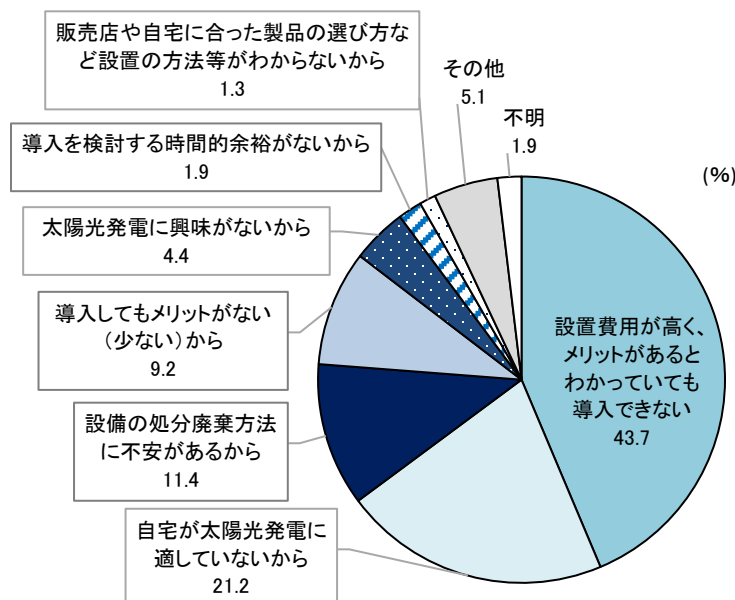
◆「設置費用が高く、メリットがあるとわかっていても導入できない」43.7%

問8で「導入する予定はない」と回答した316人に理由を尋ねたところ、最多は「設置費用が高く、メリットがあるとわかっていても導入できない」で43.7%。次いで「自宅が太陽光発電に適していないから」が21.2%、「設備の処分廃棄方法に不安があるから」が11.4%、「導入してもメリットがない(少ない)から」が9.2%と続いた。前回調査とは選択肢が異なり、比較できない(※)。

年代別では、50代は「費用が高い」が59.6%と高い。70代と80歳以上は「自宅が太陽光発電に適していない」が27%台と高め。

※参考：前回調査の選択肢は、「設置費用が高いから」27.3%、「ご自宅が太陽光発電に適していないから」26.1%、「導入を検討する余裕がないから」18.1%、「どれくらいお得かわからないから」10.5%、「太陽光発電に興味がない・嫌いだから」7.1%、「適切なメーカー・販売業者、設置の方法等がわからないから」1.7%。

集計表43ページ



お住まいの断熱性は？

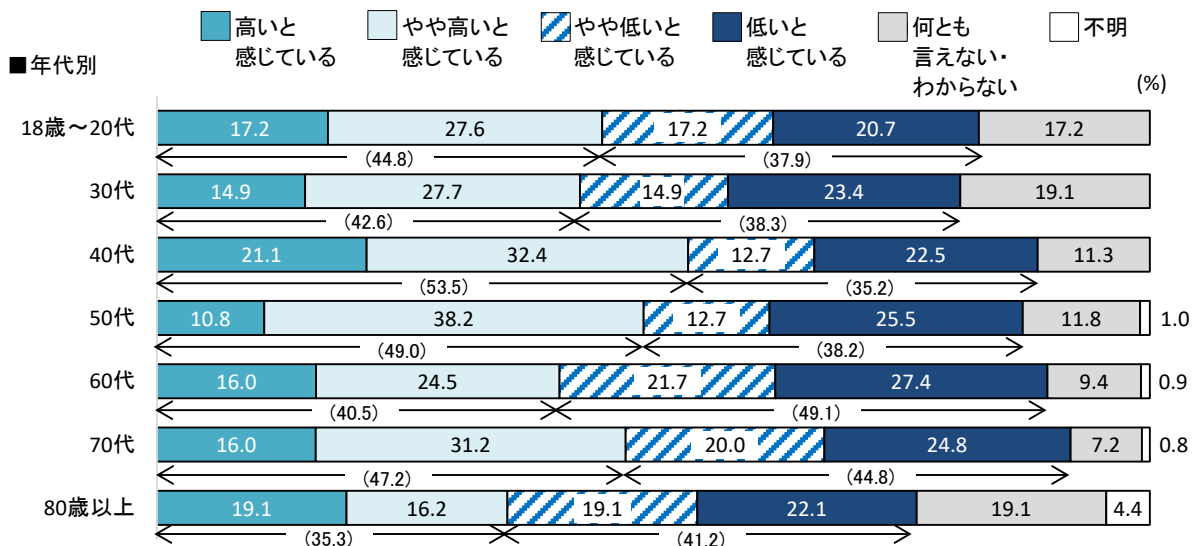
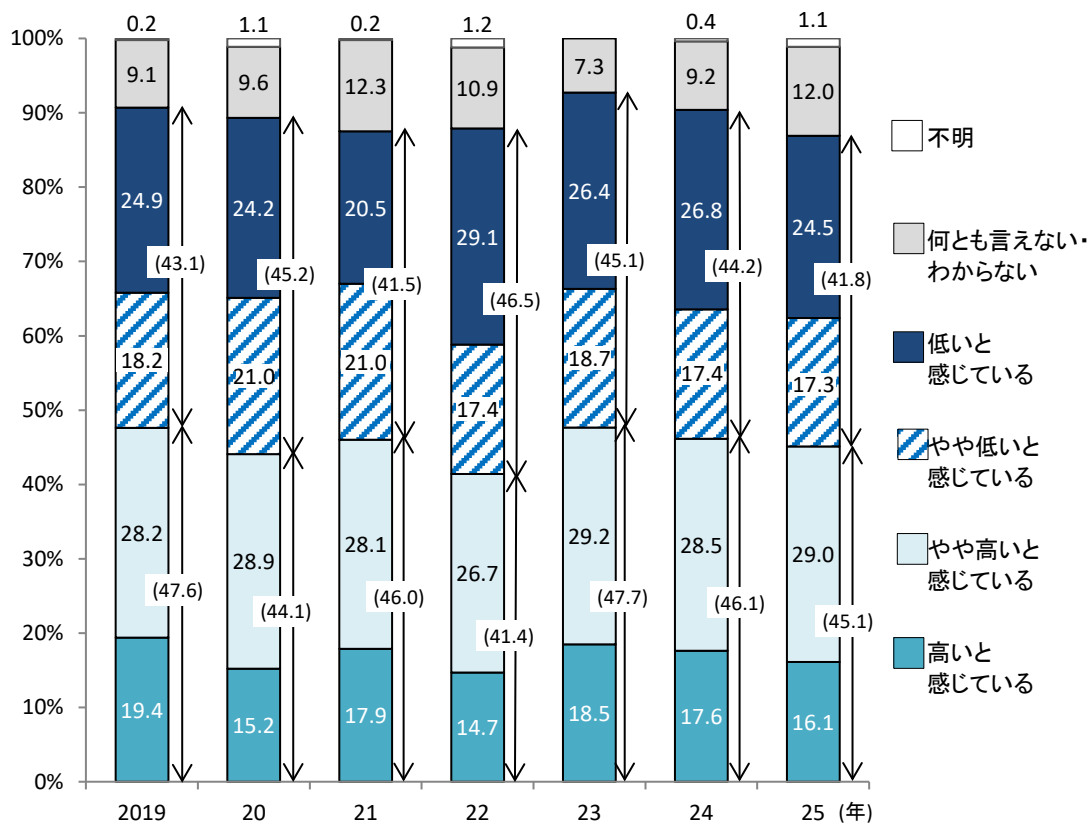
問 11 あなたは、現在お住まいの住宅の断熱性能を高いと感じていますか。

◆断熱性能「高い」「やや高い」合計 45.1%

集計表44ページ

現在居住している住宅の断熱性能を「高いと感じている」のは16.1%で、「やや高いと感じている」の29.0%と合わせて45.1%。「低いと感じている」は24.5%で、「やや低いと感じている」は17.3%で合計41.8%。高いと感じている人と低いと感じている人の割合が拮抗する結果となった。前回調査と比べて横ばいだった。

年代別では、40代は「高いと感じている」の合計が唯一半数を超える。



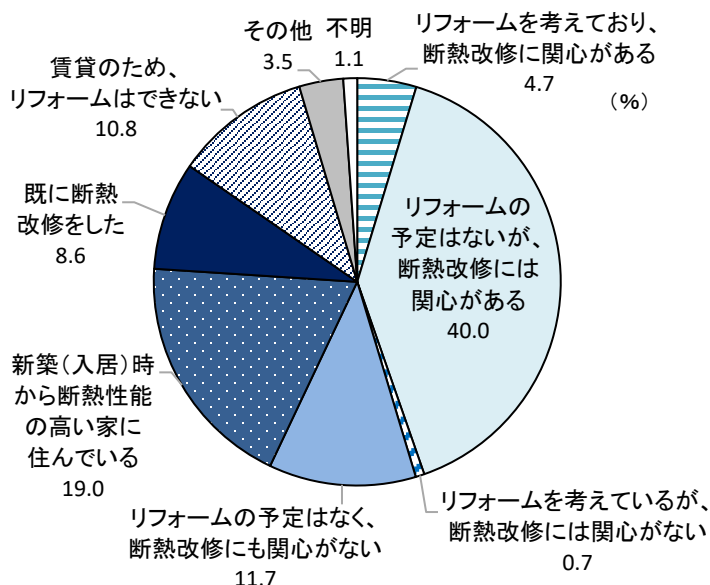
断熱改修

問 12 住宅の断熱性能を向上させるには、窓や壁、屋根、床などの断熱改修（省エネリフォーム）が効果的です。あなたは、住宅の断熱改修に関心がありますか。次の中から、あてはまる項目を選んでください。

◆「リフォームの予定はないが、断熱改修には関心がある」 4 割

集計表45ページ

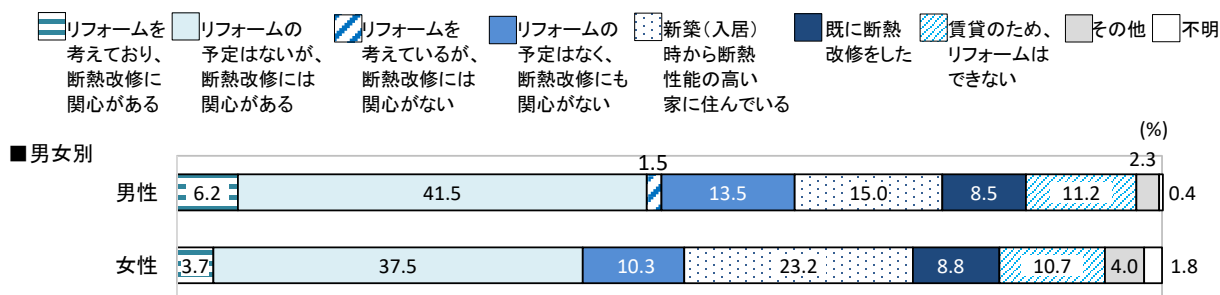
最も多かったのは「リフォームの予定はないが、断熱改修には関心がある」の40.0%。次いで「新築（入居）時から断熱性能の高い家に住んでいる」が19.0%、「リフォームの予定はなく、断熱改修にも関心がない」が11.7%、「賃貸のため、リフォームはできない」が10.8%となっている。「リフォームの予定はないが、断熱改修には関心がある」は前回調査（46.0%）から6.0ポイント減少し、「既に断熱改修をした」は前回調査（3.7%）から4.9ポイント増。

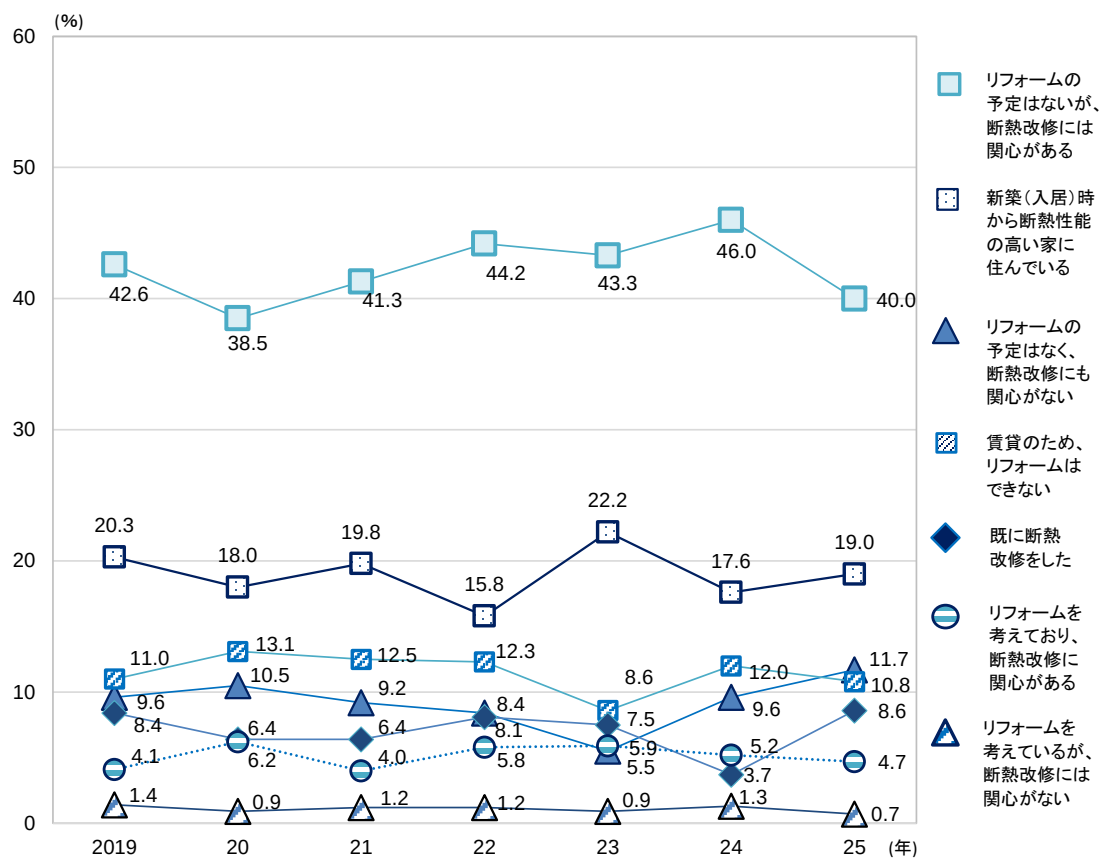


女性は「新築（入居）時から断熱性の高い住宅に住んでいる」（23.2%）という回答が高め。

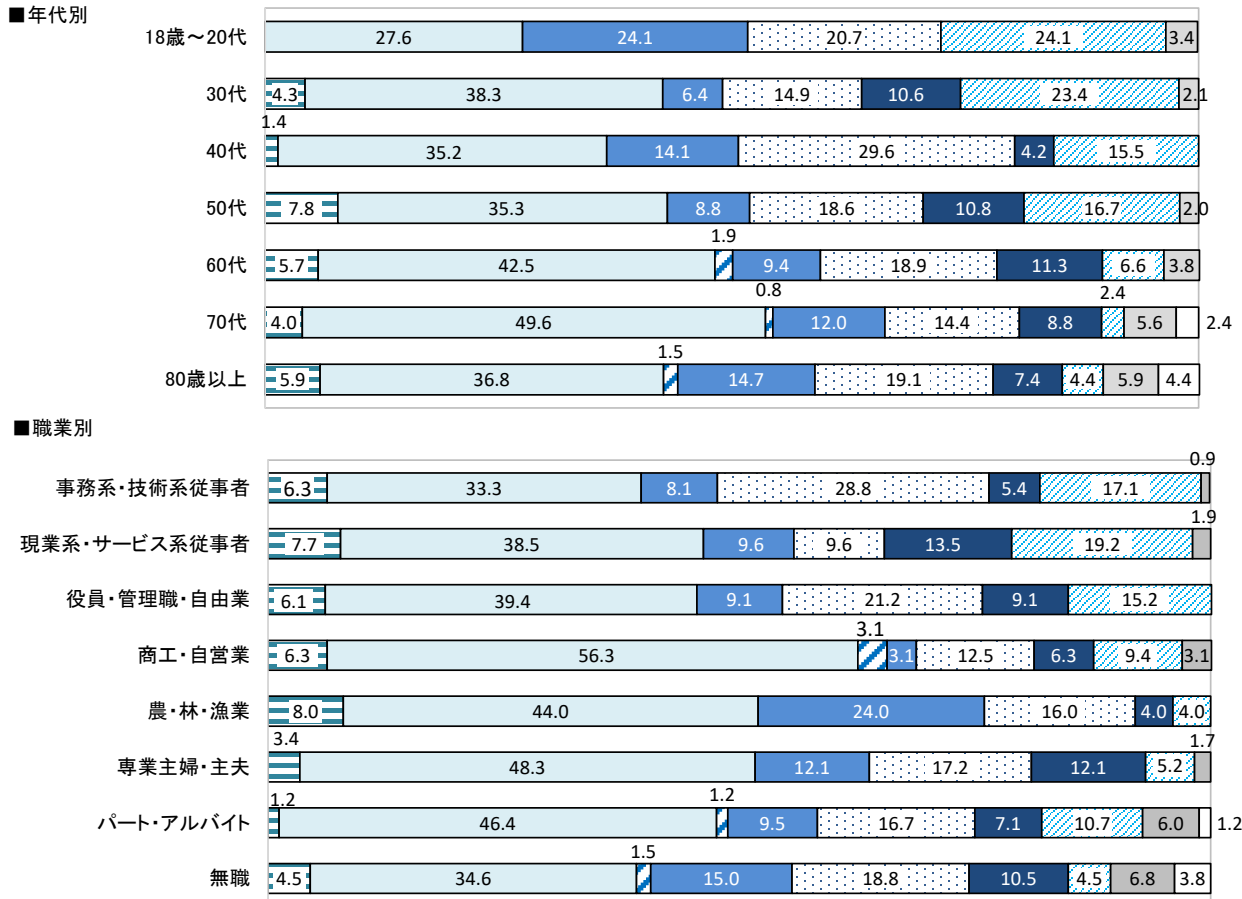
年代別にみると、70代は「リフォームの予定はないが、断熱改修には関心がある」が49.6%で、他の年代と比べ高い関心を示している。一方、18歳～20代では「賃貸のため、リフォームはできない」が24.1%と高い。

職業別にみると、商工・自営業は「リフォームの予定はないが、断熱改修には関心がある」が56.3%と高い。事務系・技術系従事者では「既に断熱改修をした」（5.4%）と「新築（入居）時から断熱性能の高い住宅に住んでいる」（28.8%）の合計が3割を超えている。





■ 年代別
 ■ 職業別



車の運転で気を付けていること

問 13 あなたは、車の運転の際、エコドライブで気を付けていることがありますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

◆「発進時にふんわりアクセルを心がけている」62.9%

集計表46ページ

最多は「発進時にふんわりアクセルを心がけている」の62.9%で、次いで「加減速の少ない運転をするよう心がけている」が61.7%、「減速時は早めのアクセルオフをするようにしている」が49.1%、「アイドリングはできる限りしないようにしている」が48.1%と続く。「自分の車の燃費を把握することを習慣にしている」は42.0%で、「タイヤの空気圧チェックを習慣にしている」は20.0%にとどまる。前回調査と比べて「自分の車の燃費を把握」が9.9ポイント減少した。

・発進時にふんわりアクセルを心がけている

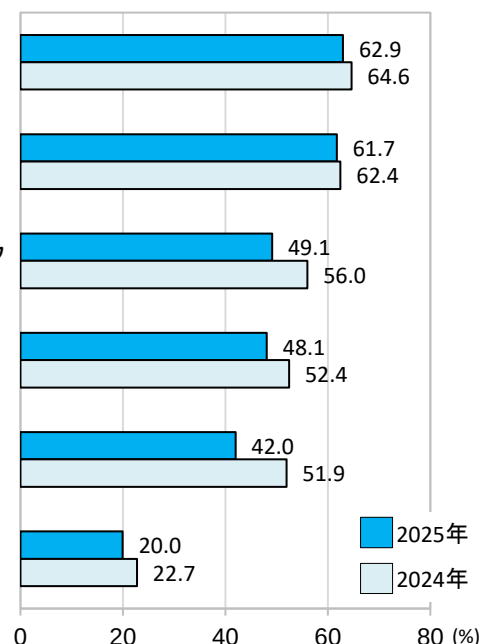
・加減速の少ない運転をするよう心がけている

・減速時は早めのアクセルオフをするようにしている

・アイドリングはできる限りしないようにしている

・自分の車の燃費を把握することを習慣にしている

・タイヤの空気圧チェックを習慣にしている

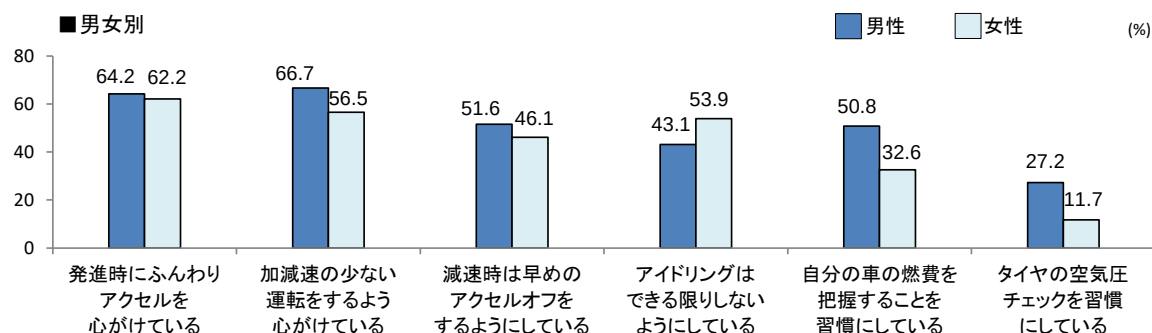


性別では、男性の方が多くの項目で取り組み率が高く、「タイヤの空気圧チェック」は27.2%と、女性（11.7%）の2.3倍以上。一方、女性は「アイドリングはできる限りしないようにしている」（53.9%）の割合が男性（43.1%）を上回る。

年代別にみると、80歳以上は「アイドリングはできる限りしないようにしている」と「タイヤの空気圧チェックを習慣にしている」がそれぞれ58.1%、34.9%と高い。40代は「発進時にふんわりアクセル」が70.4%と他の年代より高め。

職業別では、現業系・サービス系従事者は「発進時にふんわりアクセル」が75.0%、農・林・漁業は「タイヤの空気圧チェック」が33.3%と高い。

注：「運転はしない」と回答した50人と無回答7人を除外した491人を分母として再集計した。



通勤手段

問 14 (お勤めをされている方にお尋ねします) あなたは、通勤の際、主に何を利用して
いますか。

◆「マイカー・社用車」の利用 計 73.2%

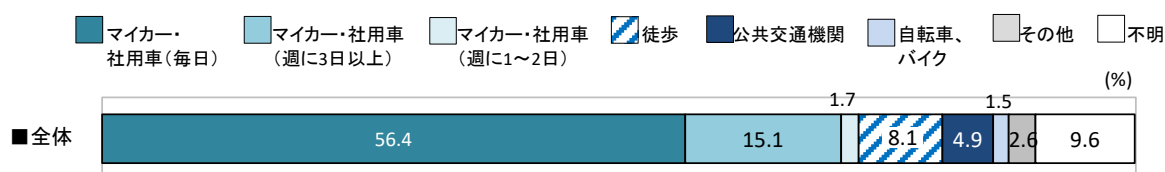
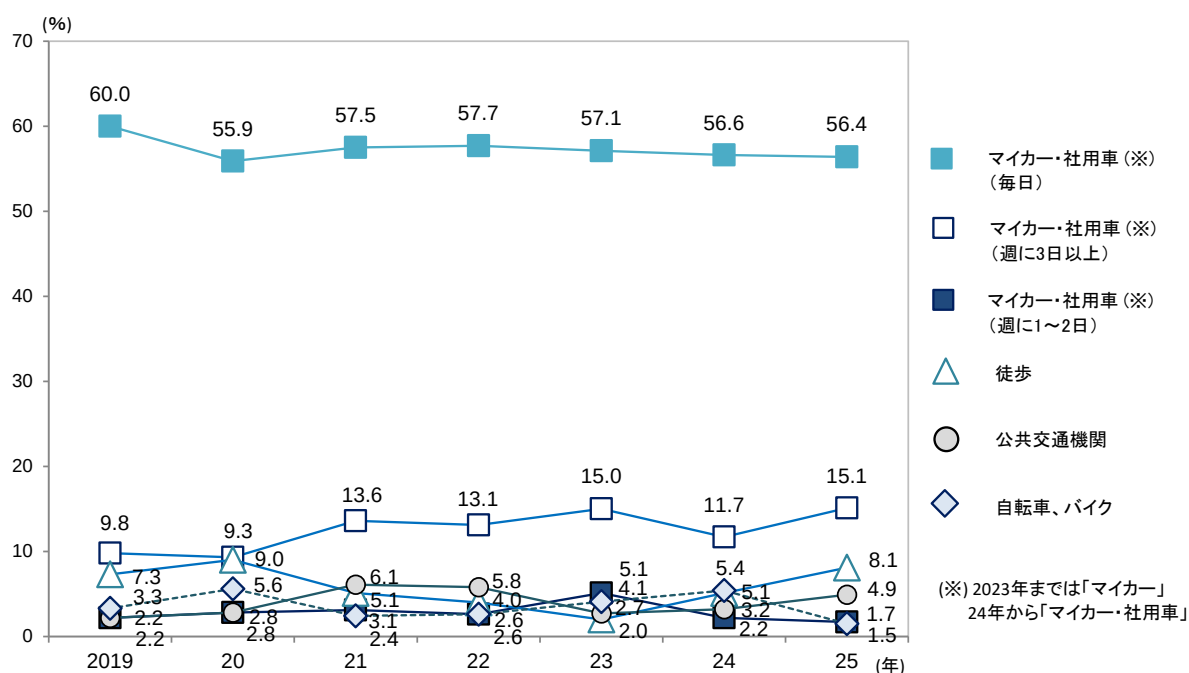
集計表47ページ

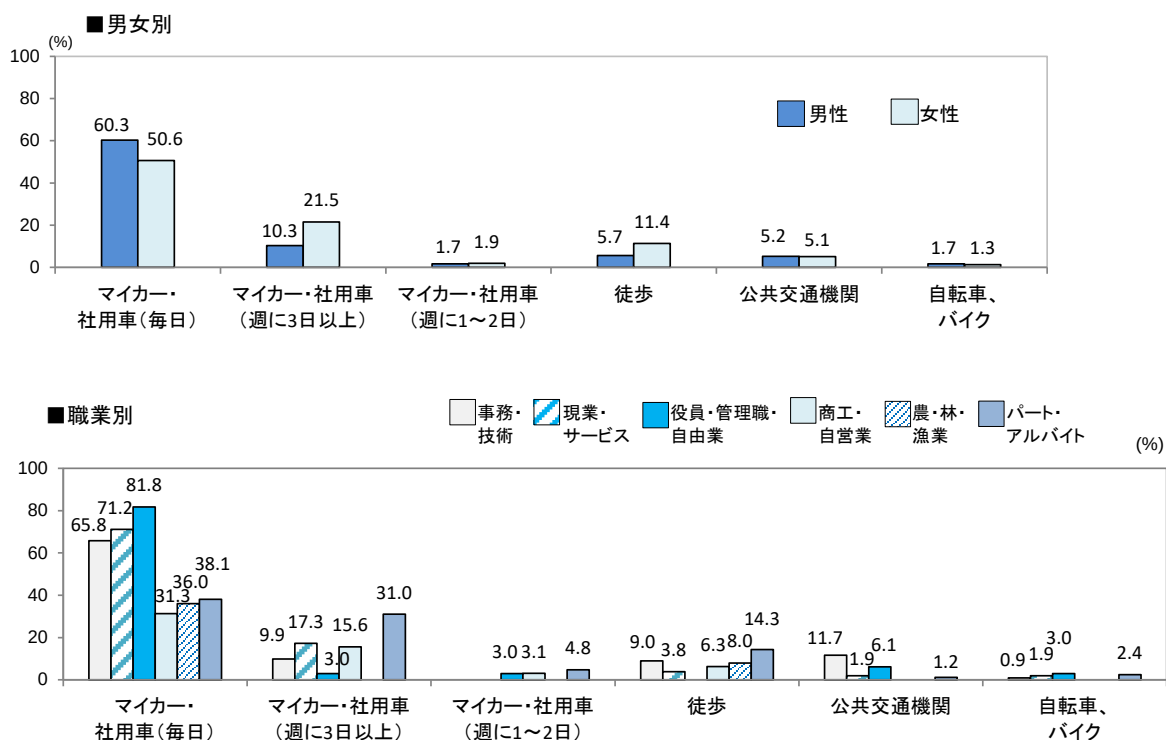
通勤時に利用している交通手段の中で最多は「マイカー・社用車（毎日）」で 56.4%、次いで「マイカー・社用車（週に3日以上）」が 15.1%、「徒歩」が 8.1%、「公共交通機関」が 4.9%、「マイカー・社用車（週に1～2日）」が 1.7%、「自転車・バイク」が 1.5%と続く。

「マイカー・社用車」の合計は 73.2%で、過去6回の調査と比較して大きな変動はない。

男性は「マイカー・社用車（毎日）」が 60.3%と高く、女性は「マイカー・社用車（週に3日以上）」が 21.5%と男性（10.3%）の約2倍で、利用頻度に男女差がみられる。

職業別では、役員・管理職・自由業は「マイカー・社用車（毎日）」が 81.8%、現業系・サービス系従事者も 71.2%と高い。一方で、パート・アルバイトでは「マイカー・社用車（週に3日以上）」が 31.0%、「徒歩」が 14.3%と高く、通勤手段としての断続的利用がみとれる。農・林・漁業および商工・自営業では「不明」（無回答）がそれぞれ 48.0%、37.5%と高い。





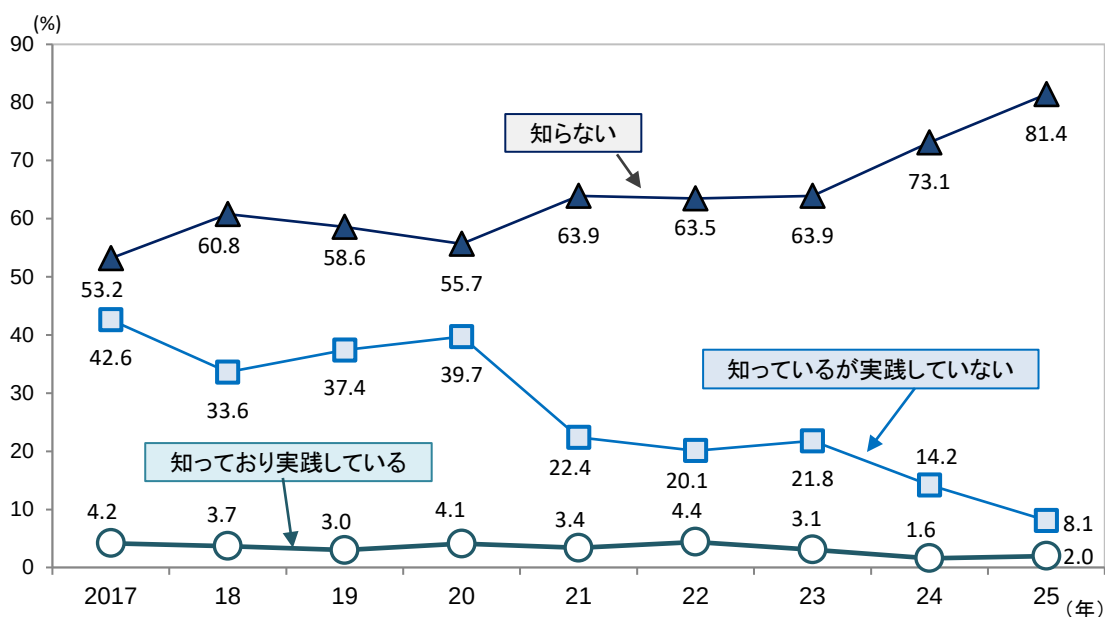
信州スマートムーブ

問 15 あなたは、「信州スマートムーブ通勤ウィーク」を知っていますか。

集計表48ページ

◆「知らない」8割超

「知らない」が81.4%と大半を占める。「知っているが実践していない」は8.1%で、「知っており実践している」は2.0%にとどまった。「知らない」は過去8回の調査と比べて今回が最も高く、初めて8割を超えた。



※2020年までの質問は「『県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク』を知っていますか」

ごみの量

問 16 長野県民 1 人当たりの 1 日のごみ（一般廃棄物）排出量は、2021 年度に、800 g の目標が達成され、県は 2025 年度には 790 g にする目標を掲げています。あなた自身の生活の中から出るごみの量についてはどう思いますか。

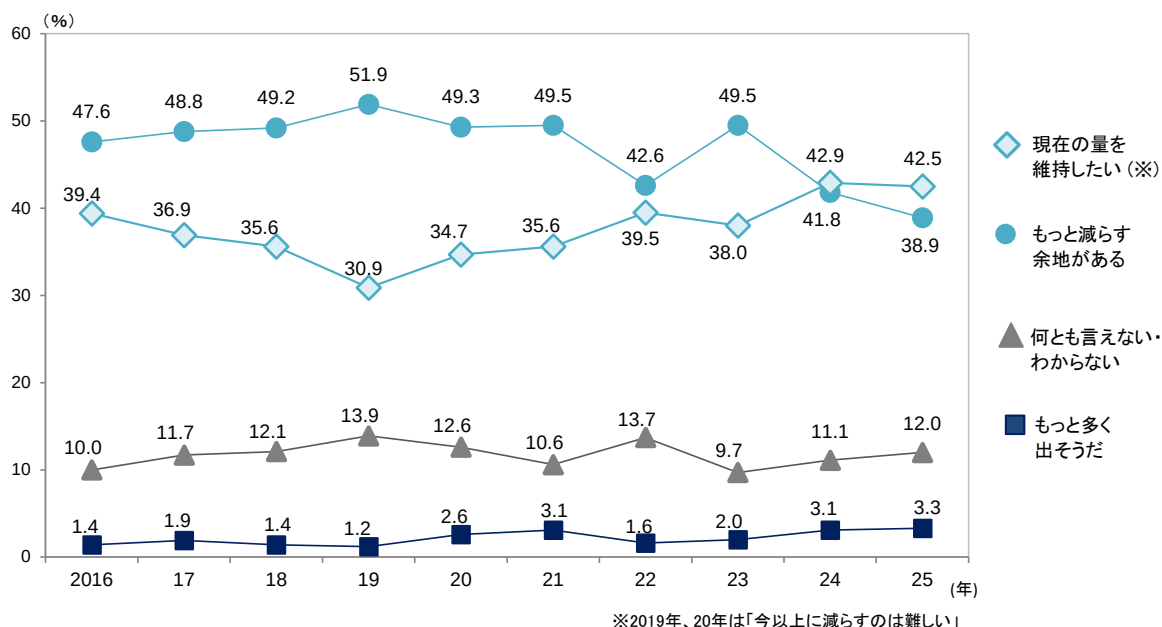
◆「現在の量を維持したい」42.5%

集計表 49 ページ

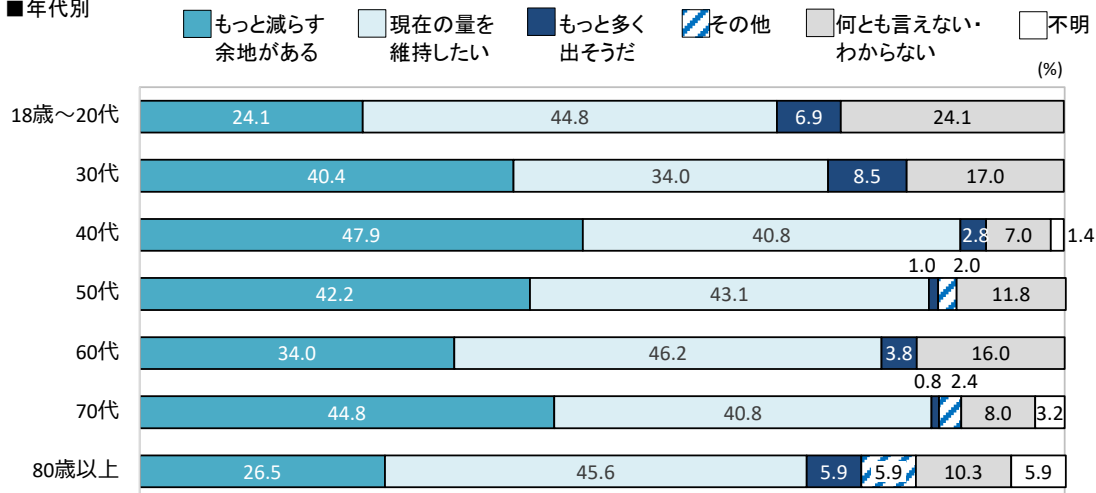
「現在の量を維持したい」が 42.5% で最多で、「もっと減らす余地がある」が 38.9% で続く。「もっと減らす余地がある」はこれまでの調査で最も低く、「現在の量を維持したい」は横ばい。

年代別では、40 代は「もっと減らす余地がある」とした割合が 47.9% で最も高い。18 歳～20 代は「何とも言えない・わからない」が 24.1%、30 代は 17.0% と高め。

職業別では、現業系・サービス系従事者の半数が「もっと減らす余地がある」と回答し、省エネ意識の高さが際立つ。役員・管理職・自由業と専業主婦・主夫は「維持したい」がそれぞれ 54.5%、53.4% と高い。



■年代別



プラごみ 減らすために

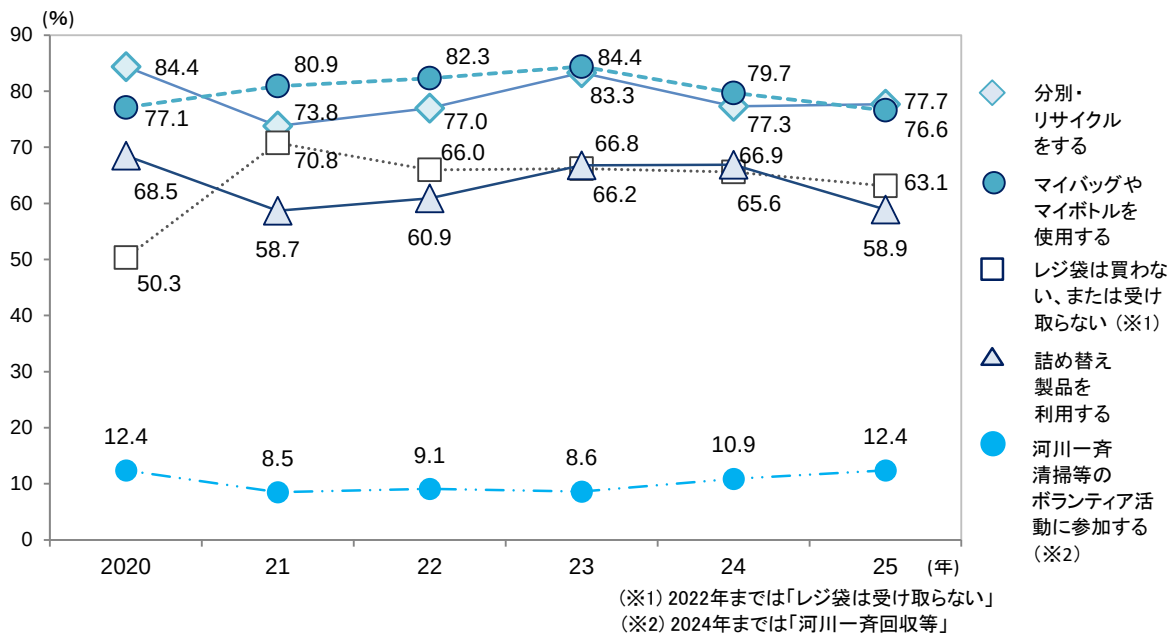
問 17 容器、袋など、プラスチックごみによる、海洋汚染などが問題化しています。プラスチックごみを減らすために、あなたが日ごろ、心掛けていることはありますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

◆「分別・リサイクル」「マイバッグやマイボトルを使用」並ぶ

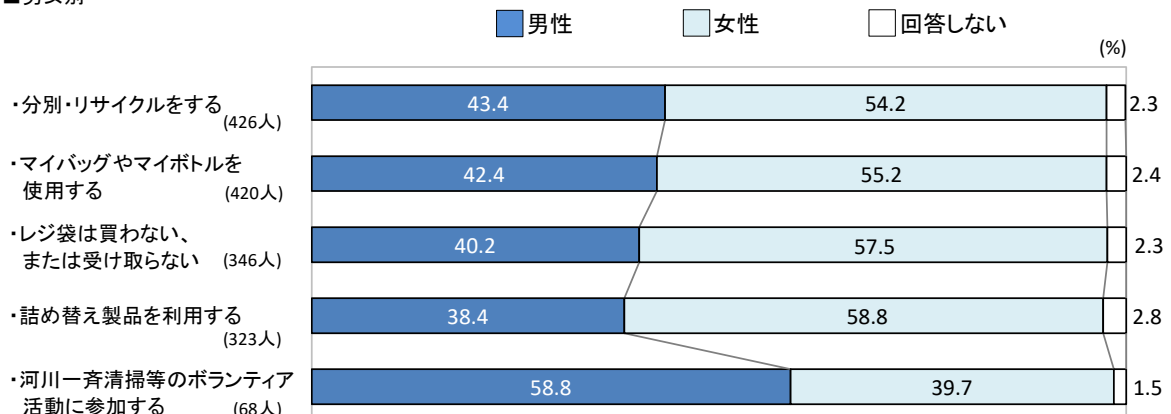
集計表50ページ

心がけていることの最多は「分別・リサイクルをする」の77.7%で、「マイバッグやマイボトルを使用する」が76.6%で並ぶ。「レジ袋は買わない、または受け取らない」が63.1%、「詰め替え製品を利用する」が58.9%と続く。「河川一斉清掃等のボランティア活動に参加する」は12.4%にとどまり、「特にない」は2.9%。前回調査から「詰め替え製品を利用する」が8.0ポイント減少したが、全体的にはこれまでの調査と同様の傾向。

女性の取り組み率が多く、男性を上回っており、「詰め替え製品を利用する」と回答した人の男女割合は、女性（58.8%）が男性（38.4%）を20.4ポイントも上回った。



■男女別



エシカル消費

問 18 あなたは、次に挙げるエシカル消費(※)につながる行動について、実践しているものはありますか。あてはまるものを全て挙げてください。

◆「マイバッグ・マイ箸・マイカップ等の利用」74.6%

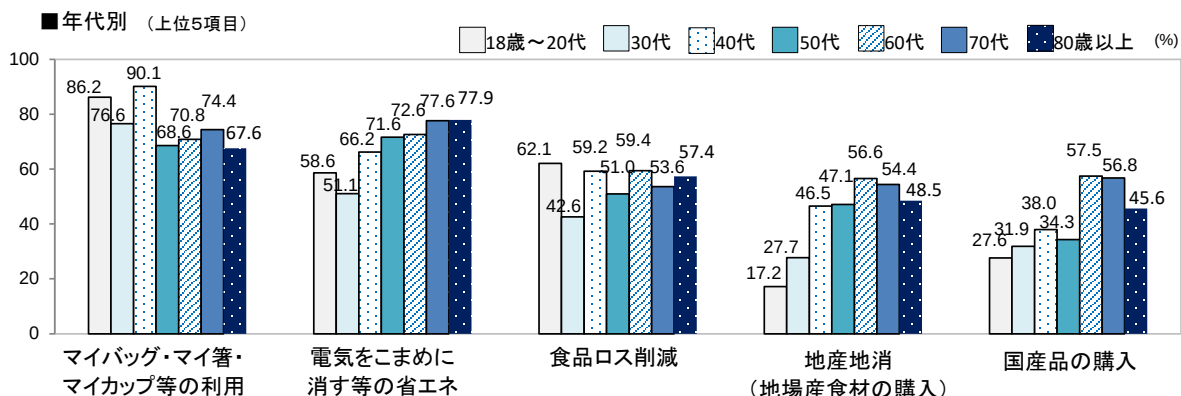
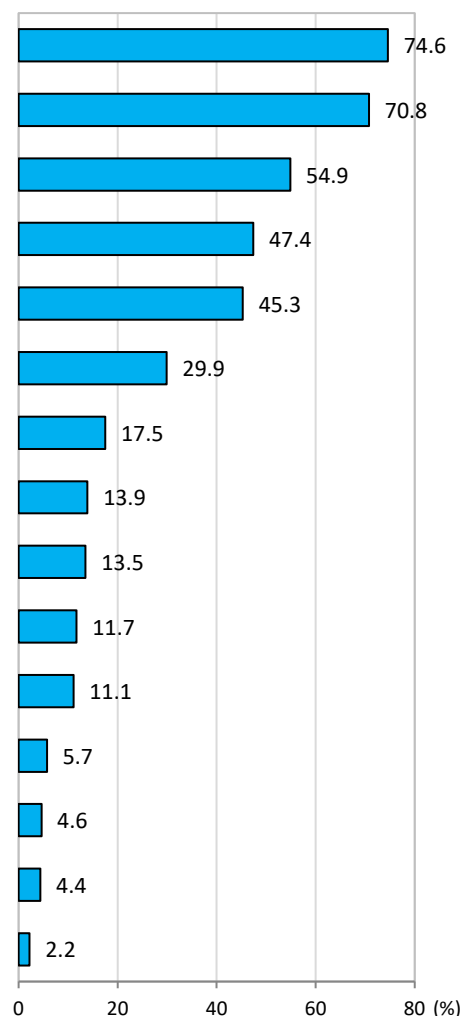
集計表51～52ページ

最も多かった取り組みは「マイバッグ・マイ箸・マイカップ等の利用」で74.6%、次いで「電気をこまめに消す等の省エネ」が70.8%、「食品ロス削減」が54.9%、「地産地消（地場産食材の購入）」が47.4%、「国産品の購入」が45.3%と続く。過去3回の調査と比べて同様の傾向だった。

女性は全般的に実践している割合が高く、「マイバッグ等の利用」は83.1%で男性を16.6ポイント上回る。

年代別では、18歳～20代は「食品ロス削減」が62.1%と他の年代より高め。60代と70代は「国産品の購入」や「地産地消」、

- ・マイバッグ・マイ箸・マイカップ等の利用
- ・電気をこまめに消す等の省エネ
- ・食品ロス削減
- ・地産地消（地場産食材の購入）
- ・国産品の購入
- ・リサイクル活動・リサイクル品の購入
- ・被災地へお金の寄付や物資提供
- ・太陽光・風力発電など再生可能エネルギーの利用・購入
- ・環境に配慮した商品（エコカー、エコラベル商品、持続可能な林産物海産物等を含む）の購入
- ・地域コミュニティ活動への参加
- ・有機食品・製品の購入
- ・フェアトレード（Fair Trade: 公平・公正な貿易）商品の購入
- ・寄付型商品の購入
- ・被災地以外の国内外へお金の寄付や物資提供
- ・アニマルウェルフェア（動物福祉）に配慮した商品の購入



※ エシカル消費 地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

環境のために実行していること

問 19 あなたは日ごろ、次に挙げる環境のためになること（環境に配慮した暮らし）の行動例のうち、実行していることはありますか。あてはまるものを全て挙げてください。

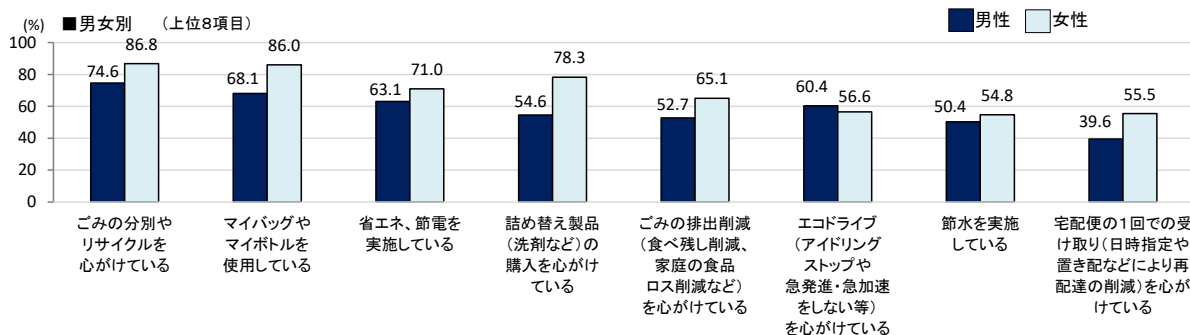
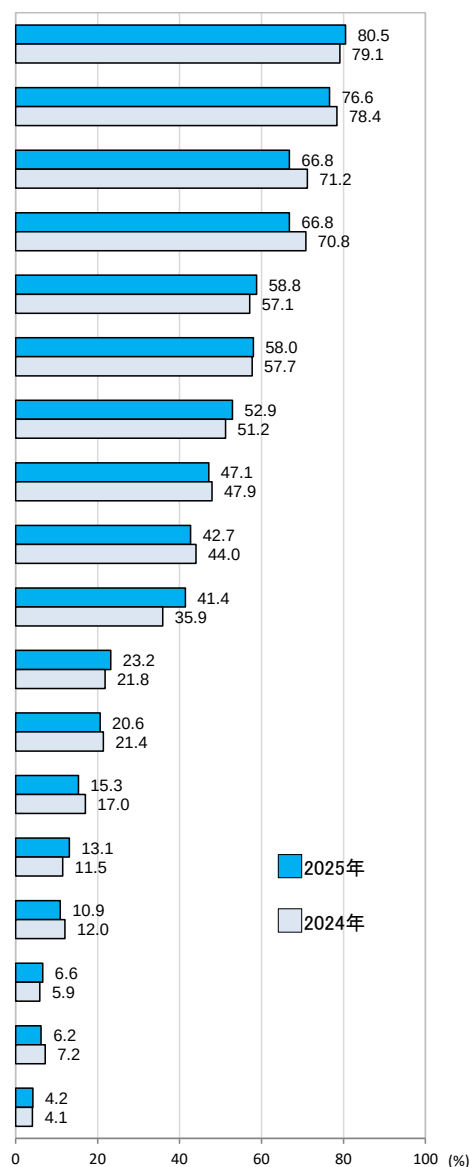
◆「ごみの分別やリサイクルを心がけている」 8 割

集計表53～54ページ

最多は「ごみの分別やリサイクルを心がけている」の80.5%で、次いで「マイバッグやマイボトルを使用している」が76.6%、「省エネ、節電を実施している」と「詰め替え製品（洗剤など）の購入を心がけている」がともに66.8%、「ごみの排出削減を心がけている」が58.8%、「エコドライブ（アイドリングストップや急発進・急加速をしない等）を心がけている」が58.0%と続いた。前回調査と比べて大きな変動はみられない。

女性は廃棄物関係の4項目（「ごみの分別やリサイクル」、「マイバッグやマイボトル」、「詰め替え製品の購入」、「ごみの排出削減」）で男性より10ポイント以上高い。

- ・ごみの分別やリサイクルを心がけている
- ・マイバッグやマイボトルを使用している
- ・省エネ、節電を実施している
- ・詰め替え製品（洗剤など）の購入を心がけている
- ・ごみの排出削減（食べ残し削減、家庭の食品ロス削減など）を心がけている
- ・エコドライブ（アイドリングストップや急発進・急加速をしない等）を心がけている
- ・節水を実施している
- ・宅配便の1回での受け取り（日時指定や置き配などにより再配達の削減）を心がけている
- ・地産産食材の購入を心がけている
- ・洗濯や食器洗いの洗剤の量を控えめにしている
- ・省エネ性能を意識して家電を買い替えている
- ・EVやハイブリッド自動車などエネルギー効率のいい車に乗っている
- ・太陽光パネルを設置している
- ・エコラベル（エコマークなど）掲載商品の購入を心がけている
- ・公共交通機関や自転車を積極的に利用している
- ・環境に関する講習会や勉強会に参加したことがある
- ・野生生物保護、自然再生、外来動植物駆除（アレチウリ駆除等）の活動に参加したことがある
- ・自然観察会に参加したことがある

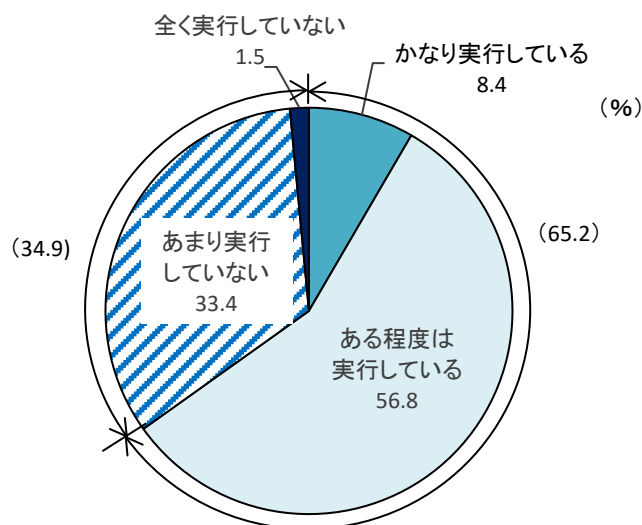


問 1 9 続 き ど の 程 度 実 行 ？

◆ 6 項 目 以 上 実 行 65.2%

18 の行 動 例 の う ち、実 行 し て い る 数 が 12 以 上 を「か な り 実 行 し て い る」、6 ～ 11 を「あ る 程 度 は 実 行 し て い る」、1 ～ 5 を「あ ま り 実 行 し て い な い」、ゼ ロ を「全 く 実 行 し て い な い」と分 類 と し た 結 果、「か な り 実 行 し て い る」は 8.4%、「あ る 程 度 は 実 行 し て い る」が 56.8%で、「実 行 し て い る」の 合 計 は 65.2%。「あ ま り 実 行 し て い な い」は 33.4%、「全 く 実 行 し て い な い」が 1.5%で、「実 行 し て い な い」の 合 計 は 34.9%。前 回 調 査 と 比 べ る と ほ ぼ 横 ば い だ っ た。

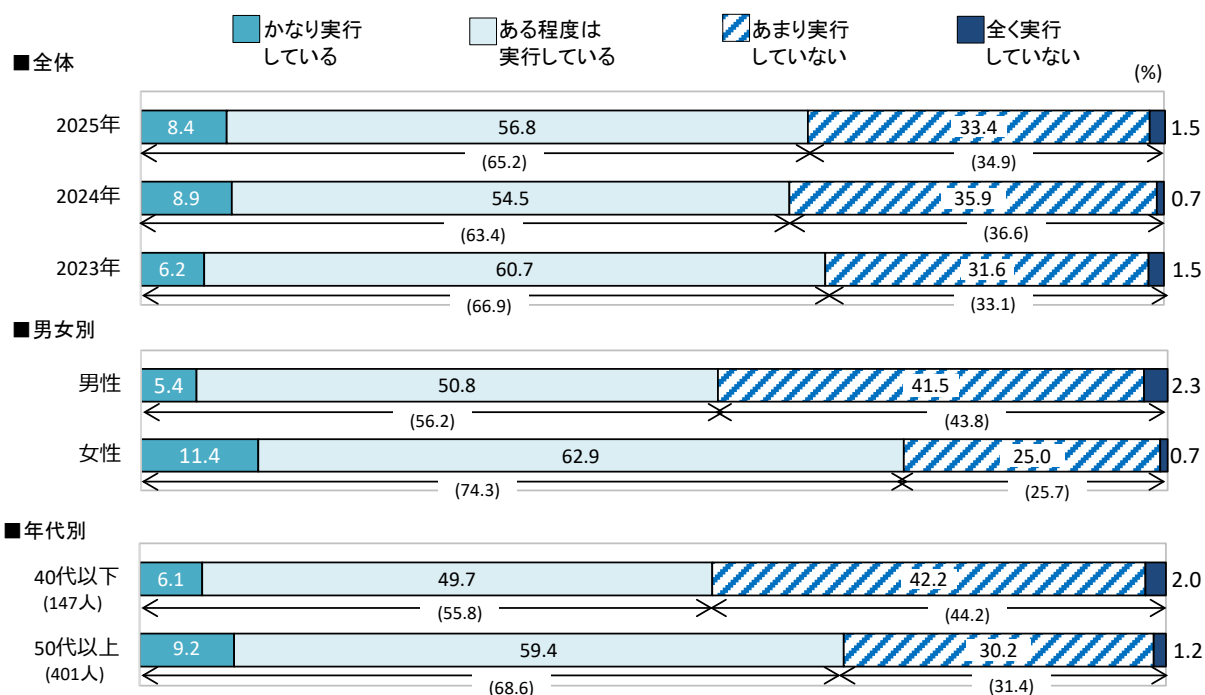
「実 行 し て い る」の 合 計 は、男 性 が 56.2%に 対 し、女 性 は 74.3%と 女 性 の 方 が 18.1 ポ イ ン ト 高 い。年 代 別 で は、40 代 以 下 が 前 回 か ら 11.2 ポ イ ン ト 増 の 55.8%で、50 代 以 上 は 3.0 ポ イ ン ト 減 の 68.6%。50 代 以 上 の 方 が 12.8 ポ イ ン ト 高 い も の の、前 回 よ り 差 が 縮 ま っ て い る。



※「実行している」項目数により分類

18項目中

- ・12項目以上 … 「かなり実行している」
- ・6～11項目 … 「ある程度は実行している」
- ・1～5項目 … 「あまり実行していない」
- ・0項目 … 「全く実行していない」



環境を良くする活動への参加

問 20 あなたが、環境をより良くするために参加している活動、または参加したいと思う活動はどれですか。次の中から、3つ以内に絞って教えてください。

◆「食品ロス・食べ残し削減のための活動」35.4%

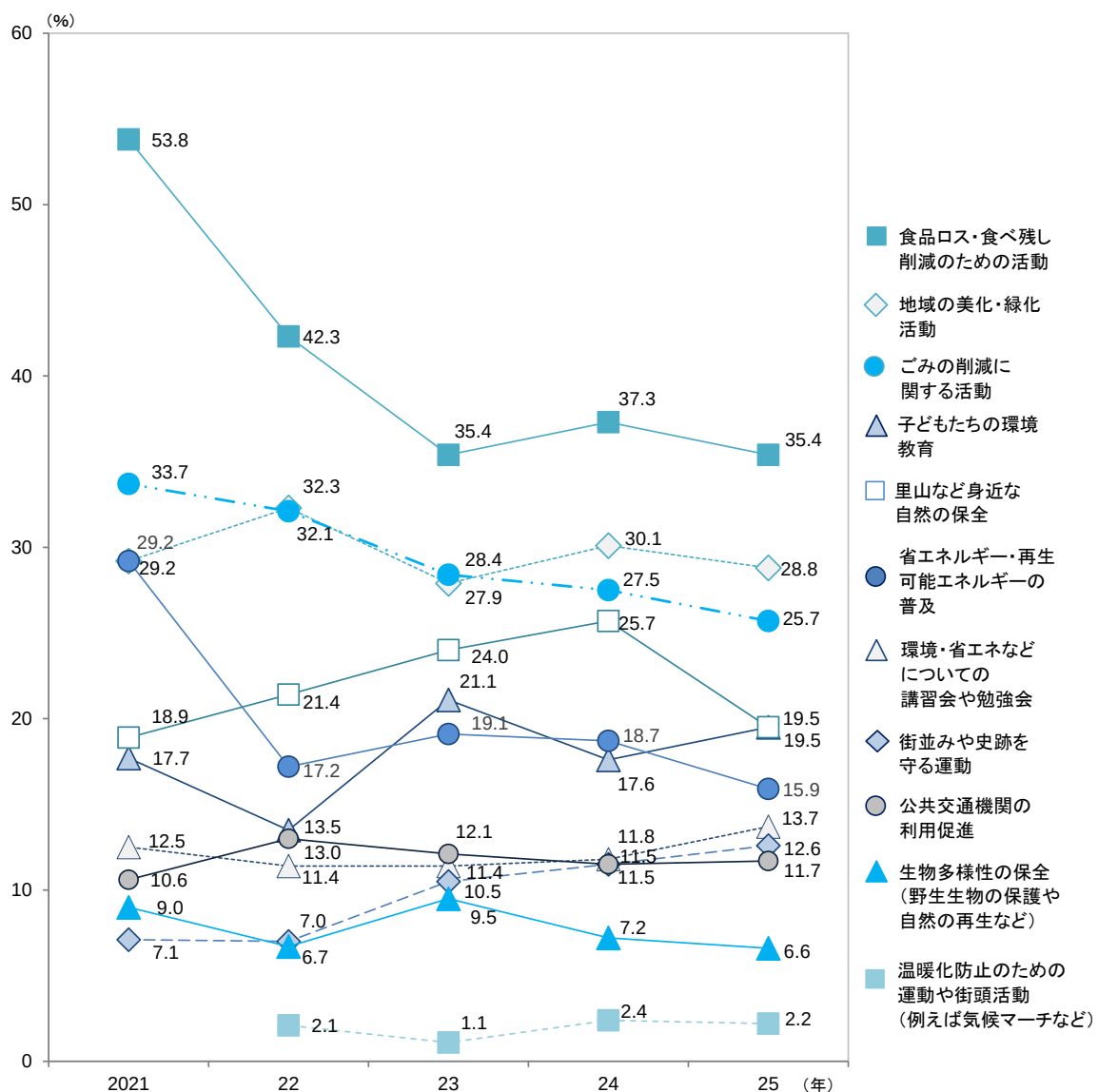
集計表55ページ

全体で最も高かったのは「食品ロス・食べ残し削減のための活動」で35.4%、次いで「地域の美化・緑化活動」が28.8%、「ごみの削減に関する活動」が25.7%、「子どもたちの環境教育」と「里山など身近な自然の保全」がともに19.5%と続く。「特にない・わからない」は19.7%。過去調査との比較では、ここ3回は同様の傾向が続いている。

男性は「里山など身近な自然の保全」(22.3%)や「省エネルギー・再生可能エネルギーの普及」(18.5%)で女性より高め。

年代別では、30代と40代は「子どもたちの環境教育」がともに36%台と高い。

職業別では、商工・自営業は「街並みや史跡を守る運動」、「里山など身近な自然の保全」、「子どもたちの環境教育」が34.4%と高い。



キーワード 知っていますか

問 21 あなたは、環境問題に関する次のことば（用語、キーワード）を知っていますか。
知っているものを全て挙げてください。

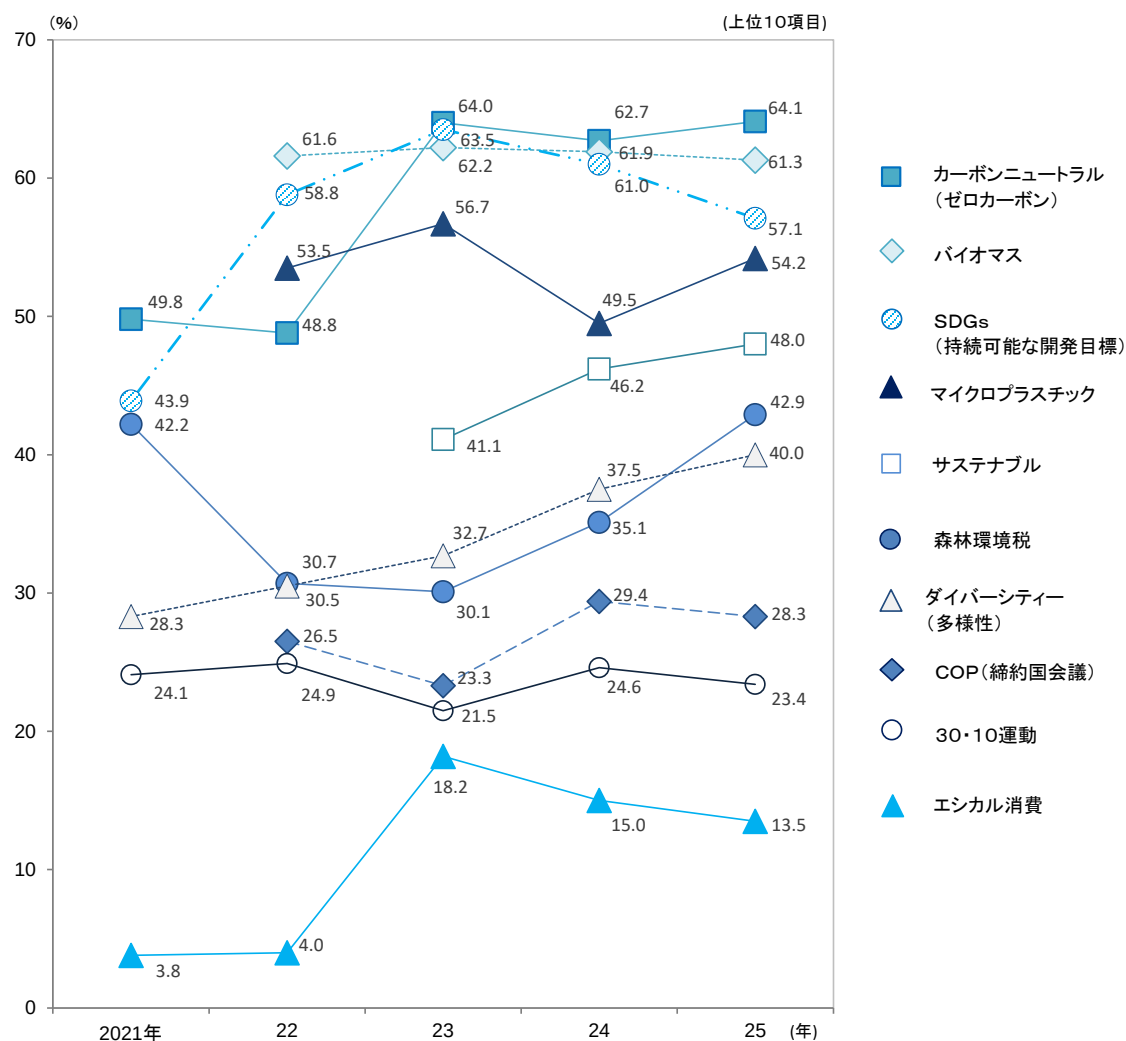
◆「カーボンニュートラル」「バイオマス」6割超

集計表56～57ページ

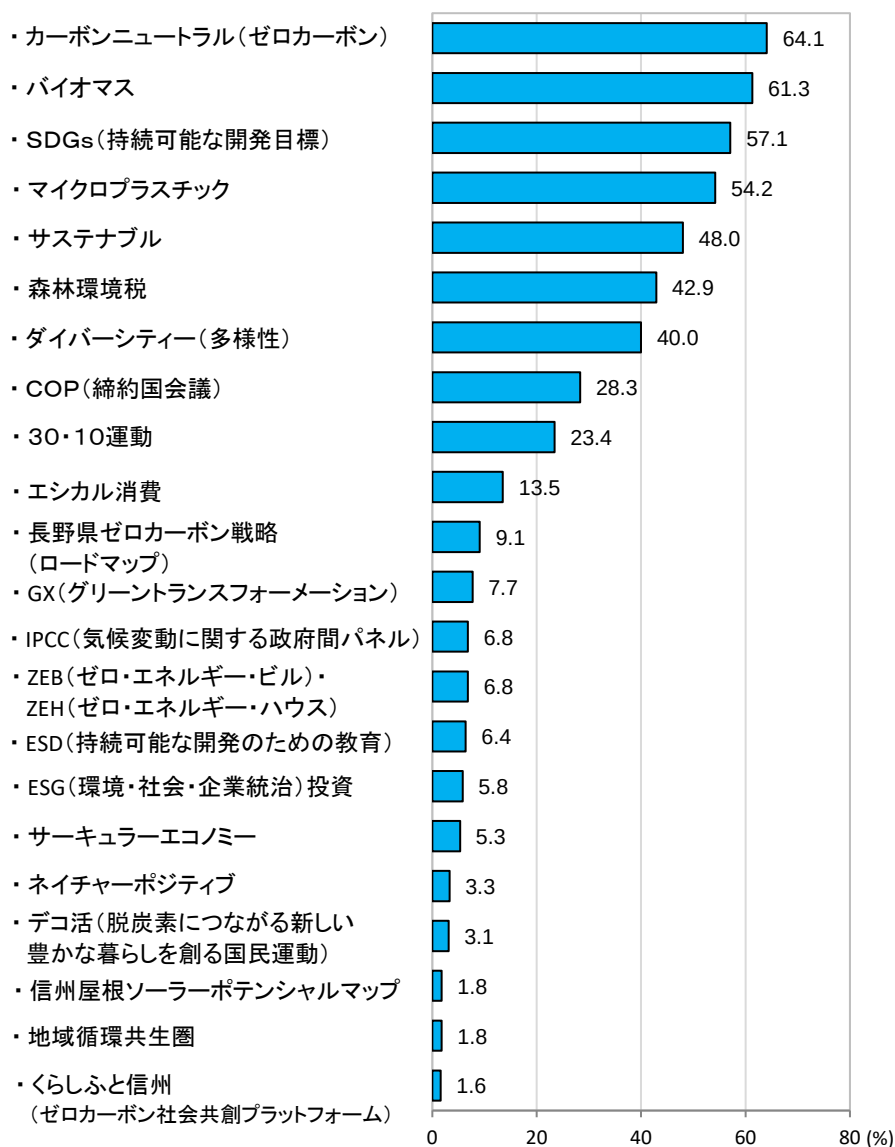
認知度が最も高かったのは「カーボンニュートラル（ゼロカーボン）」の64.1%。次いで「バイオマス」が61.3%、「SDGs（持続可能な開発目標）」が57.1%、「マイクロプラスチック」が54.2%と続き、上位4項目が半数を超えた。過去調査と比べて上位2項目は横ばいで、「サステナブル」、「森林環境税」、「ダイバーシティ」の3項目は増加傾向が続いている。

男性の方が全体的に認知度が高く、「GX（グリーントランスフォーメーション）」や「IPCC（気候変動に関する政府間パネル）」など技術・制度関連用語への理解が相対的に高い。女性は唯一「エシカル消費」が男性を上回る。

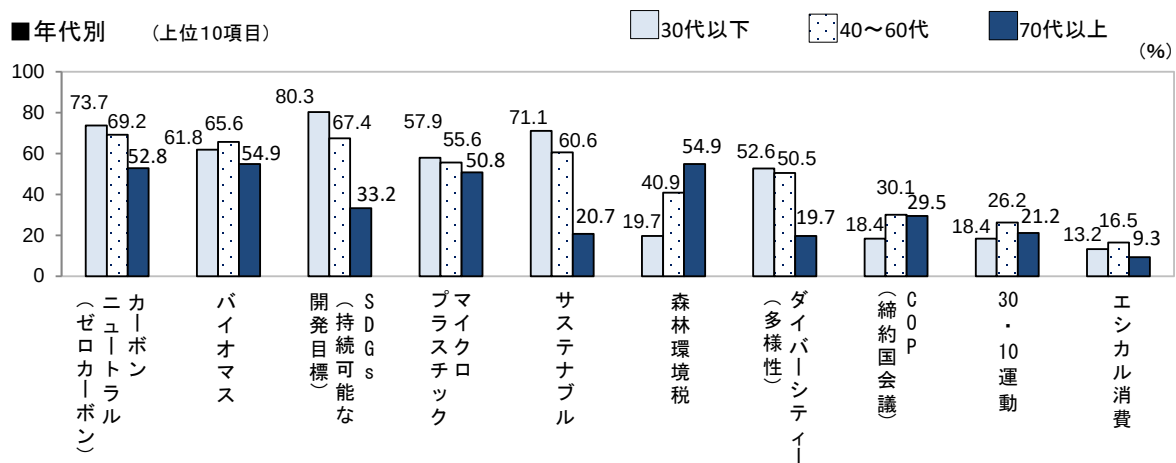
年代別にみると30代以下は「カーボンニュートラル（ゼロカーボン）」、「SDGs（持続可能な開発目標）」、「サステナブル」といった項目で他の年代より高い。



■全体



■年代別 (上位10項目)



III 調查票

「環境と暮らし 2025」

＜ご回答に際してのお願い＞

- ❖ 封筒の宛名に書かれたご本人様のご回答をお願い致します。
- ❖ ご回答は右端の□の中に数字をご記入ください。
- ❖ ご回答の内容によって、質問をとばしていただく場合があります。
その場合は、指示に従ってお進みください。
- ❖ 「その他」に該当する場合は、()の中に具体的内容をご記入ください。

問 1 あなたが、地球環境問題を考えるときに、特に心配なことは何ですか。
次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 地球温暖化・異常気象・気候変動
- ② オゾン層の破壊
- ③ 熱帯林・森林の減少
- ④ 石炭火力発電や原子力発電などのエネルギー問題
- ⑤ メガソーラーなどの開発による自然破壊
- ⑥ 水資源の枯渇
- ⑦ 自然災害の増加
- ⑧ 生物多様性の減少（野生生物種の減少）
- ⑨ 海洋汚染（マイクロプラスチックなど）
- ⑩ 土壌汚染
- ⑪ ごみ問題
- ⑫ 農作物への影響
- ⑬ 国際間の紛争（戦争）
- ⑭ その他（
- ⑮ 特になし

問2 あなたは現在、地球温暖化に関心がありますか。

- ① 関心がある
- ② ある程度関心がある
- ③ あまり関心はない
- ④ 関心はない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

7

問 3 地球温暖化防止のためのパリ協定(※)を実現するには、今世紀半ばに、温室効果ガス^の排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

A あなたは、主要な温室効果ガスである二酸化炭素(CO₂)排出量を実質ゼロ(ゼロカーボン)の社会は、どのような社会だと思いますか。

- ① 高性能な住まいの普及やスマートシティの形成等により、
今より快適で便利な社会
- ② 再生可能エネルギーの普及や省エネ技術の発展等により、
今と同じくらい便利な社会
- ③ エネルギーを極力使わないよう我慢を強いられる不便な社会
- ④ その他 ()
- ⑤ 何とも言えない・わからない

※ パリ協定 京都議定書に代わる地球温暖化対策の国際協定。産業革命以前の気温上昇を 2℃未満、できれば 1.5℃に抑えることを目指す。

B 地球温暖化対策は、あなたご自身の生活の質を高めると思いませんか。
生活の質を下げると思いませんか。イメージに近い方を選んでください。

- ① 多くの場合、生活の質を高める
- ② 多くの場合、生活の質を下げる
- ③ 何とも言えない・わからない

問 4 長野県の気候非常事態宣言では、「県民一丸となった徹底的な省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大」を推進するとしています。あなたご自身が協力できると思うことを、次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 太陽光発電による自家発電
- ② 太陽光以外の再生可能エネルギー利用
(小水力・地熱・バイオマス等)
- ③ 住宅の断熱性能の向上
- ④ 省エネ家電への買い替え
- ⑤ 電気自動車への買い替え
- ⑥ 公共交通機関の利用
- ⑦ 自転車・徒歩による移動
- ⑧ ごみ削減や分別、リサイクルへの協力
- ⑨ その他 ()
- ⑩ 特になし

問 5 あなたは日ごろ、省エネ・節電を実行していますか。

- ① かなり実行している  問 7 へ
- ② ある程度は実行している  問 7 へ
- ③ あまり実行していない  問 6、7 へ
- ④ 全く実行していない  問 6、7 へ
- ⑤ 何とも言えない・わからない  問 7 へ

問 6 (問 5 で③・④とお答えの方にお尋ねします)

その主な理由は何ですか。

- ① 省エネ・節電の取り組みは面倒臭い
- ② 省エネ・節電への取り組み方がわからない
- ③ 省エネ・節電は設備などに費用がかかる
- ④ その他 ()

(全員の方にお尋ねします)

問 7 現在は利用する電力会社を選べますが、発電方式で選択するとしたら、どの発電を行う会社から電力を購入したいと思いますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

(該当する番号の左側に○印を付けてください)

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | ① 再生可能(自然)エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど) |
| ☐ | ② 石炭・天然ガスなどの火力 |
| ☐ | ③ 原子力 |
| ☐ | ④ 購入せず自家発電で自給自足する(太陽光、エネファーム＝ガスなどによる発電) |
| ☐ | ⑤ その他 () |
| ☐ | ⑥ 特に気にしていない・わからない |

問 8 太陽光発電は、発電時に温室効果ガスを排出しないことから、環境への負荷が小さく、発電した電気を自宅で使うことで電気代の削減や停電時の備えにも役立てることができます。あなたのお宅では、太陽光発電を導入していますか。

- ① 太陽光発電を導入している → 問 9、11へ
- ② 今はしていないが、今後導入したい → 問11(次ページ)へ
- ③ (持ち家に居住しているが) 導入する予定はない → 問10、11へ
- ④ (マンション・賃貸などで) 導入できない → 問11(次ページ)へ

問 9 (問 8 で①とお答えの方にお尋ねします)

太陽光発電を導入して、最も良かったことを選択してください。

- ① 経済的メリット(電気代の節約、売電収入)
- ② 災害・停電へ備えることができること
- ③ 環境への負荷を減らせること
- ④ その他 ()
- ⑤ 特になし

問10 (問 8 で③とお答えの方にお尋ねします)

あなたが太陽光発電を導入しない理由として最も大きなものを選択してください。

- ① 設置費用が高く、メリットがあるとわかっていても導入できない
- ② 導入してもメリットがない(少ない)から
- ③ 販売店や自宅に合った製品の選び方など設置の方法等がわからないから
- ④ 自宅が太陽光発電に適していないから
(例:日当たりが悪い、積雪が多い、築年数等により設置が困難など)
- ⑤ 導入を検討する時間的余裕がないから
- ⑥ 太陽光発電に興味がないから
- ⑦ 設備の処分廃棄方法に不安があるから
- ⑧ その他 ()

（全員の方にお尋ねします）

問11 あなたは、現在お住まいの住宅の断熱性能を高いと感じていますか。

- ① 高いと感じている
- ② やや高いと感じている
- ③ やや低いと感じている
- ④ 低いと感じている
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

（問 11 の答えにかかわらず、全員の方にお尋ねします）

問12 住宅の断熱性能を向上させるには、窓や壁、屋根、床などの断熱改修（省エネルギーリフォーム）が効果的です。あなたは、住宅の断熱改修に関心がありますか。次の中から、あてはまる項目を選んでください。

- ① リフォームを考えており、断熱改修に関心がある
- ② リフォームを考えているが、断熱改修には関心がない
- ③ リフォームの予定はないが、断熱改修には関心がある
- ④ リフォームの予定はなく、断熱改修にも関心がない
- ⑤ 賃貸のため、リフォームはできない
- ⑥ 既に断熱改修をした
- ⑦ 新築（入居）時から断熱性能の高い家に住んでいる
- ⑧ その他（)

☐

問13 あなたは、車の運転の際、エコドライブで気を付けていることがありますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

（該当する番号の左側に○印を付けてください）

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ☐ | ① 発進時にふんわりアクセルを心がけている |
| ☐ | ② 加減速の少ない運転をするよう心がけている |
| ☐ | ③ 減速時は早めのアクセルオフをするようにしている |
| ☐ | ④ アイドリングはできる限りしないようにしている |
| ☐ | ⑤ 自分の車の燃費を把握することを習慣にしている |
| ☐ | ⑥ タイヤの空気圧チェックを習慣にしている |
| ☐ | ⑦ その他（) |
| ☐ | ⑧ 運転はしない |

次の問 14～15 は、お勤めをされている方にお尋ねします
学生の方、無職の方など通勤をされていない方は ➡ 問 16 へお進みください

問14 あなたは、通勤の際、主に何を利用していますか。

- ① マイカー・社用車（毎日）
- ② マイカー・社用車（週に3日以上）
- ③ マイカー・社用車（週に1～2日）
- ④ 公共交通機関
- ⑤ 自転車、バイク
- ⑥ 徒歩
- ⑦ その他（)

☐

問15 あなたは、「信州スマートムーブ通勤ウィーク」を知っていますか。

- ① 知っており実践している
- ② 知っているが実践していない
- ③ 知らない

☐

(全員の方にお尋ねします)

問16 長野県民1人当たりの1日のごみ(一般廃棄物)排出量は、2021年度に、800gの目標が達成され、県は2025年度には790gにする目標を掲げています。あなた自身の生活の中からは出るごみの量についてはどう思いますか。

- ① もっと減らす余地がある
- ② 現在の量を維持したい
- ③ もっと多く出そうだ
- ④ その他 ()
- ⑤ 何とも言えない・わからない

☐

問17 容器、袋など、プラスチックごみによる、海洋汚染などが問題化しています。プラスチックごみを減らすために、あなたが日ごろ、心掛けていることはありますか。次の中から、あてはまるものを全て挙げてください。

(該当する番号の左側に○印を付けてください)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ☐ | ① レジ袋は買わない、または受け取らない |
| ☐ | ② マイバッグやマイボトルを使用する |
| ☐ | ③ 詰め替え製品を利用する |
| ☐ | ④ 分別・リサイクルをする |
| ☐ | ⑤ 河川一斉清掃等のボランティア活動に参加する |
| ☐ | ⑥ その他 () |
| ☐ | ⑦ 特にない |

問18 あなたは、次に挙げるエシカル消費(※)につながる行動について、実践しているものはありますか。あてはまるものを全て挙げてください。

(該当する番号の左側に○印を付けてください)

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | ① マイバッグ・マイ箸・マイカップ等の利用 |
| ☐ | ② リサイクル活動・リサイクル品の購入 |
| ☐ | ③ 電気をこまめに消す等の省エネ |
| ☐ | ④ 太陽光・風力発電など再生可能エネルギーの利用・購入 |
| ☐ | ⑤ 環境に配慮した商品(エコカー、エコラベル商品、持続可能な林産物海産物等を含む)の購入 |
| ☐ | ⑥ フェアトレード(Fair Trade: 公平・公正な貿易)商品の購入 |
| ☐ | ⑦ 寄付型商品の購入 |
| ☐ | ⑧ 有機食品・製品の購入 |
| ☐ | ⑨ 地産地消(地場産食材の購入) |
| ☐ | ⑩ 国産品の購入 |
| ☐ | ⑪ 食品ロス削減 |
| ☐ | ⑫ 被災地へお金の寄付や物資提供 |
| ☐ | ⑬ 被災地以外の国内外へお金の寄付や物資提供 |
| ☐ | ⑭ 地域コミュニティ活動への参加 |
| ☐ | ⑮ アニマルウェルフェア(動物福祉)に配慮した商品の購入 |
| ☐ | ⑯ その他(具体的に) |

※ エシカル消費 地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

問19 あなたは日ごろ、次に挙げる環境のためになること（環境に配慮した暮らし）の行動例のうち、実行していることはありますか。あてはまるものを全て挙げてください。（該当する番号の左側に○印を付けてください）

地球温暖化対策関係		①	省エネ、節電を実施している
		②	省エネ性能を意識して家電を買い替えている
		③	E Vやハイブリッド自動車などエネルギー効率のいい車に乗っている
		④	エコドライブ（アイドリングストップや急発進・急加速をしない等）を心がけている
		⑤	宅配便の1回での受け取り（日時指定や置き配などにより再配達の削減）を心がけている
		⑥	太陽光パネルを設置している
		⑦	地場産食材の購入を心がけている
護自然関係保		⑧	野生生物保護、自然再生、外来動植物駆除（アレチウリ駆除等）の活動に参加したことがある
		⑨	自然観察会に参加したことがある
保水全・関大係気		⑩	節水を実施している
		⑪	洗濯や食器洗いの洗剤の量を控えめにしている
		⑫	公共交通機関や自転車を積極的に利用している
廃棄物関係		⑬	ごみの排出削減（食べ残し削減、家庭の食品ロス削減など）を心がけている
		⑭	ごみの分別やリサイクルを心がけている
		⑮	マイバッグやマイボトルを使用している
		⑯	詰め替え製品（洗剤など）の購入を心がけている
その他		⑰	エコラベル（エコマークなど）掲載商品の購入を心がけている
		⑱	環境に関する講習会や勉強会に参加したことがある

問20 あなたが、環境をより良くするために参加している活動、または参加したいと思う活動はどれですか。次の中から、3つ以内に絞ってお答えください。

- ① 環境・省エネなどについての講習会や勉強会
- ② ごみの削減に関する活動
- ③ 公共交通機関の利用促進
- ④ 子どもたちの環境教育
- ⑤ 街並みや史跡を守る運動
- ⑥ 地域の美化・緑化活動
- ⑦ 里山など身近な自然の保全
- ⑧ 生物多様性の保全（野生生物の保護や自然の再生など）
- ⑨ 省エネルギー・再生可能エネルギーの普及
- ⑩ 食品ロス・食べ残し削減のための活動
- ⑪ 温暖化防止のための運動や街頭活動（例えば気候マーチなど）
- ⑫ その他（ ）
- ⑬ 特にない・わからない

問21 あなたは、環境問題に関する次のことば(用語、キーワード)を知っていますか。
知っているものを全て挙げてください。(該当する番号の左側に○印を付けてください)

- | | | |
|--------------------------|---|--|
| ☐ | ① | C O P (締約国会議) |
| ☐ | ② | E S D (持続可能な開発のための教育) |
| ☐ | ③ | E S G (環境・社会・企業統治) 投資 |
| ☐ | ④ | G X (グリーントランスフォーメーション) |
| ☐ | ⑤ | I P C C (気候変動に関する政府間パネル) |
| ☐ | ⑥ | S D G s (持続可能な開発目標) |
| ☐ | ⑦ | Z E B (ゼロ・エネルギー・ビル)・Z E H (ゼロ・エネルギー・ハウス) |
| ☐ | ⑧ | エシカル消費 |
| ☐ | ⑨ | カーボンニュートラル (ゼロカーボン) |
| ☐ | ⑩ | サーキュラーエコノミー |
| ☐ | ⑪ | サステナブル |
| ☐ | ⑫ | ダイバーシティー (多様性) |
| ☐ | ⑬ | デコ活 (脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動) |
| ☐ | ⑭ | ネイチャーポジティブ |
| ☐ | ⑮ | バイオマス |
| ☐ | ⑯ | マイクロプラスチック |
| ☐ | ⑰ | くらしふと信州 (ゼロカーボン社会共創プラットフォーム) |
| ☐ | ⑱ | 信州屋根ソーラーポテンシャルマップ |
| ☐ | ⑲ | 森林環境税 |
| ☐ | ⑳ | 地域循環共生圏 |
| ☐ | ㉑ | 長野県ゼロカーボン戦略 (ロードマップ) |
| ☐ | ㉒ | 3 0 ・ 1 0 運動 |

問22 あなたは、「長野県環境保全協会」を知っていますか。

- ① 知っている ② 聞いたことはある ③ 知らない

☐

(問 22 の答えにかかわらず、全員の方にお尋ねします)

問23 長野県環境保全協会では、次のような事業を行っています。あなたが、知っている事業がありましたら、全て挙げてください。(該当する番号の左側に○印を付けてください)

- | | | |
|--------------------------|---|------------------------------------|
| ☐ | ① | 信州エコ大賞の表彰 |
| ☐ | ② | 小中学生を対象とした「2050 信州ゼロカーボンチャレンジ」の実施 |
| ☐ | ③ | 「うんこドリル地球温暖化 長野県編」の提供 |
| ☐ | ④ | 年末(年始)のカレンダー・手帳プレゼント会 |
| ☐ | ⑤ | デジタル地球儀(触れる地球儀・スフィア)を活用したセミナー等の開催 |
| ☐ | ⑥ | 環境啓発に関する教材や実験機器等の貸出 |
| ☐ | ⑦ | 信州スマートムーブ通勤ウィーク(旧県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク) |
| ☐ | ⑧ | 信州環境イベントポータル「信州えこなび」の運営 |
| ☐ | ⑨ | 信州環境カレッジの運営 |
| ☐ | ⑩ | 信州環境フェアの実施(実行委員会への参画) |
| ☐ | ⑪ | 会報誌「エコシン」の発行 |
| ☐ | ⑫ | 再配達削減キャンペーンの実施 |
| ☐ | ⑬ | テレビ番組「エコロジー最前線」の提供 |
| ☐ | ⑭ | F M長野・L C V・F Mぜんこうじの環境コーナーへの出演 |
| ☐ | ⑮ | 地球温暖化防止活動推進センターの運営 |
| ☐ | ⑯ | 「くらしふと信州」の運営・コーディネート業務 |
| ☐ | ⑰ | 知っている事業はない |

問24 地球温暖化または環境問題の全般について、思うところがありましたら、お書きください。

＜ご協力ありがとうございます＞

これからお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、引き続きご回答をよろしくお願い致します。

F 1 性 別 ① 男性 ② 女性 ③ 回答しない

F 2 年 代 ① 10代 ⑤ 50代
 ② 20代 ⑥ 60代
 ③ 30代 ⑦ 70代
 ④ 40代 ⑧ 80歳以上

F 3 職 業 ① 事務系・技術系従事者 ⑥ 専業主婦・主夫
 ② 現業系・サービス系従事者 ⑦ パート・アルバイト
 ③ 役員・管理職・自由業 ⑧ 学生
 ④ 商工・自営業 ⑨ 無職
 ⑤ 農・林・漁業 ⑩ その他

(※具体的に)

F 4 現在お住まいの市町村に何年居住されていますか

① 5年未満
② 5年以上 ～ 15年未満
③ 15年以上～ 30年未満
④ 30年以上

F 5 お住まいの地域性

① 市街地 ② 近郊住宅地・団地 ③ 農村・中山間地

F 6 A あなた自身は、携帯電話・スマートフォンを持っていますか

① はい ② いいえ

B 現在お住まいの住宅に、固定電話はありますか

① ある ② ない

F 7 現在の日本の社会の暮らし向きを6つに分けるとすれば、あなたの家庭はどのあたりに入ると思いますか

① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ